

第2章 市民などの意向把握アンケート調査の実施

2-1 市民アンケート調査

公共交通に関する利用状況や市民ニーズを把握し、利用状況や、これからの公共交通のあり方を検討する上での基礎資料とするために、市民アンケート調査を行いました。

調査対象者	市内在住 16 歳以上の市民 2,000 人(無作為抽出)										
調査方法	郵送配布、郵送回収 ※令和 3 年 8 月 30 日(月) 発送～9 月 13 日(月) 締切										
調査項目	<p>①回答者の属性 性別、年齢、住まい、職業、家族構成、運転免許証有無、 運転免許証自主返納意向、車両所有状況、 最寄りバス停及び鉄道駅までの交通手段及び時間</p> <p>②日常の移動実態 [通勤・通学、買い物(食料品・日用品等)、買い物(衣料品等)、通院] の頻度、行き先、交通手段、外出及び帰宅時間</p> <p>③鉄道の利用実態・意識・満足度 利用頻度、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度</p> <p>④路線バス等の利用実態・意識・満足度 利用頻度、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度</p> <p>⑤タクシーの利用実態・意識・満足度 利用頻度、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度</p> <p>⑥公共交通の今後のあり方 導入したほうが良い交通施策、公共交通に対する財政負担の考え方 公共交通の利用を促進する取組、新型コロナウイルスの影響</p>										
回収状況	<p>回収票数：1,026 票（回収率 51.3%）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域名</th> <th>回収票数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大網地域</td> <td>614</td> </tr> <tr> <td>増穂地域</td> <td>285</td> </tr> <tr> <td>白里地域</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>市合計</td> <td>1,026</td> </tr> </tbody> </table>	地域名	回収票数	大網地域	614	増穂地域	285	白里地域	127	市合計	1,026
地域名	回収票数										
大網地域	614										
増穂地域	285										
白里地域	127										
市合計	1,026										

1. 回答者の属性

回答者の性別は、市全体では「女性」が54.9%と男性よりも多く、年齢は60歳以上が50.9%を占めています。

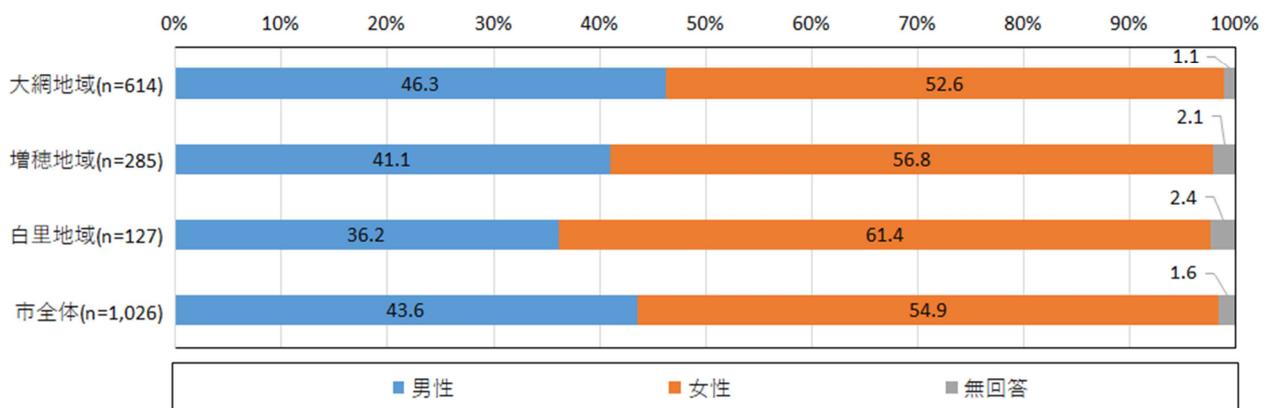
職業は「会社員・公務員」が29.3%と一番多く、次に「無職」が23.7%となっています。家族構成は「2世代(47.4%)」が一番多く、次に「夫婦のみ(33.6%)」となっています。運転免許証有無は「普通自動車以上」の免許を所持している方が75.9%を占めており、「返納済み(4.0%)」、「持ったことがない(8.7%)」となっています。

運転免許証返納意向は「現在は返納を考えていない」が58.5%と最も多く、返納意向がある「近いうちに返納予定(1.7%)」、「返納を考えているが、時期は未定(26.5%)」、「今後返納を考えたい(5.7%)」を上回りました。

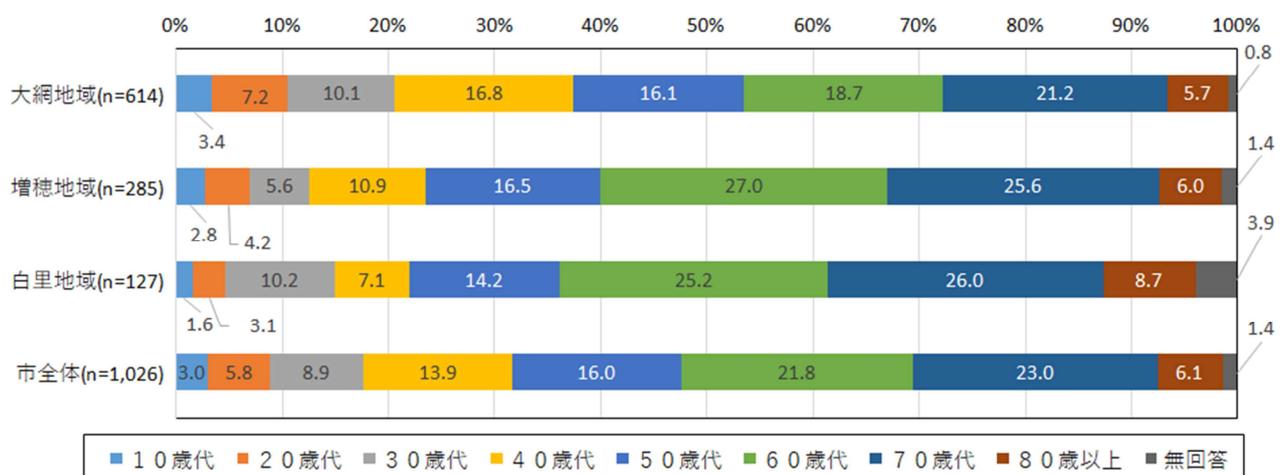
車両所有状況は「自動車」「バイク・原付」「自転車」などの自由に使える車両を所有している方が90.6%でした。

自宅から最寄りバス停までの時間は「0分～5分」が60.4%と多く、次に「6分～10分」が23.5%でした。自宅から最寄り鉄道駅までの時間は「6分～10分」が34.1%と多く、次に「11分～15分」が多くなっています。

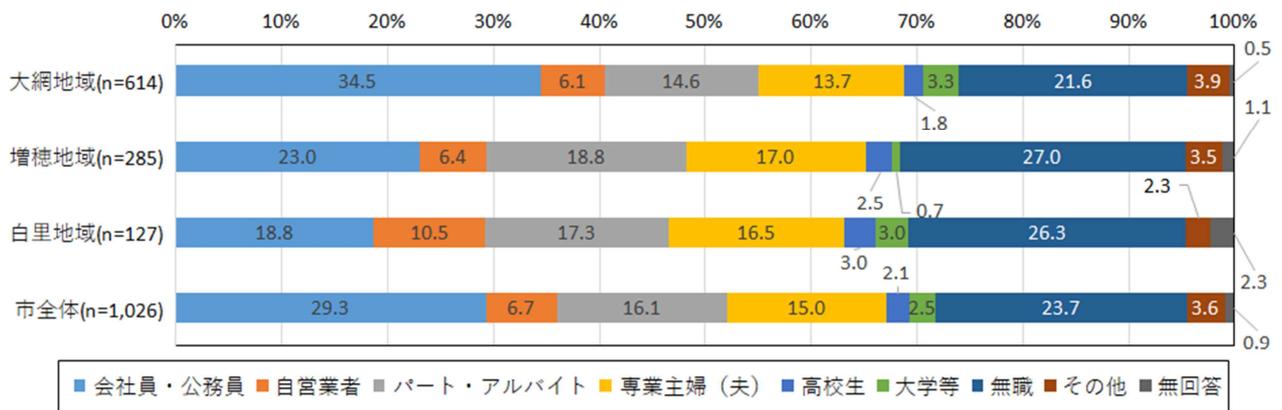
①性別



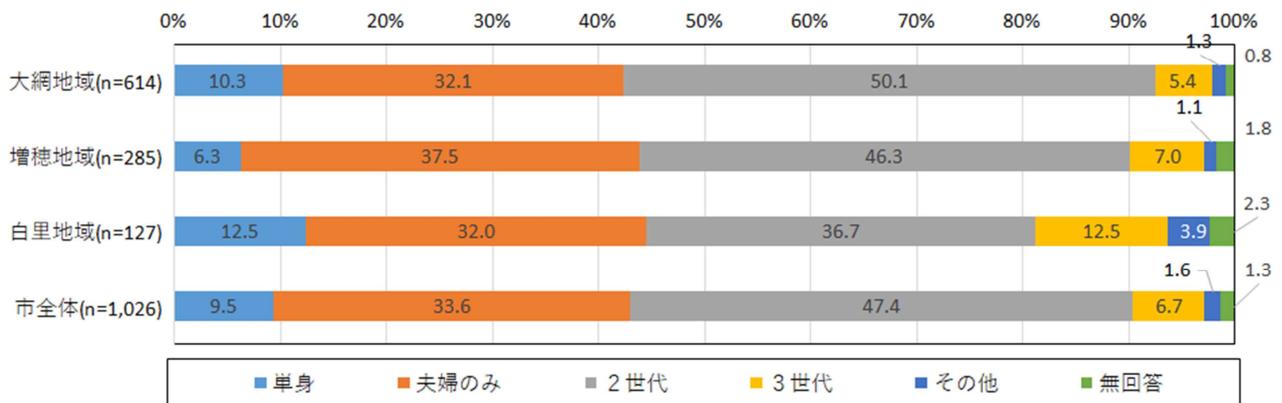
②年齢



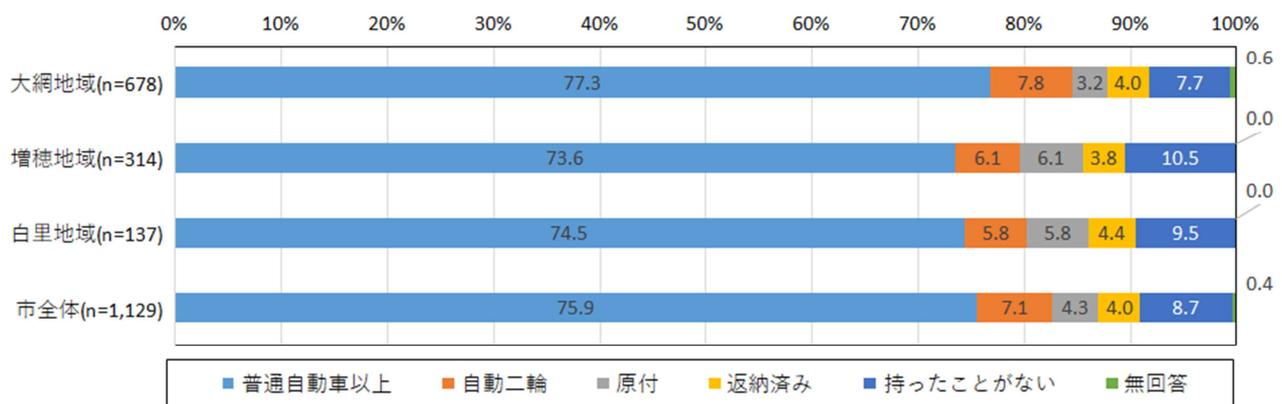
③職業



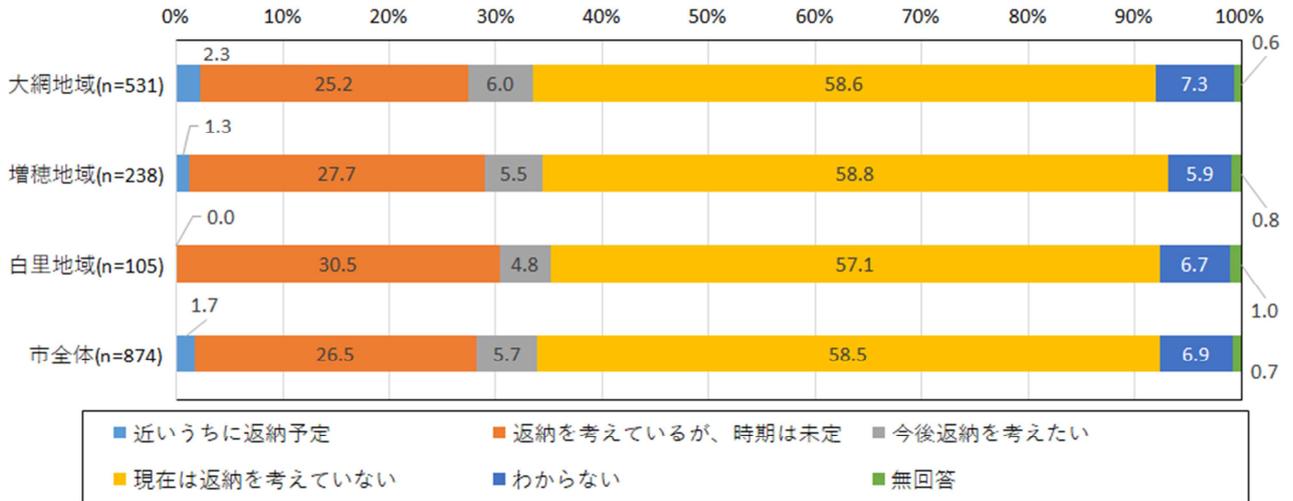
④家族構成



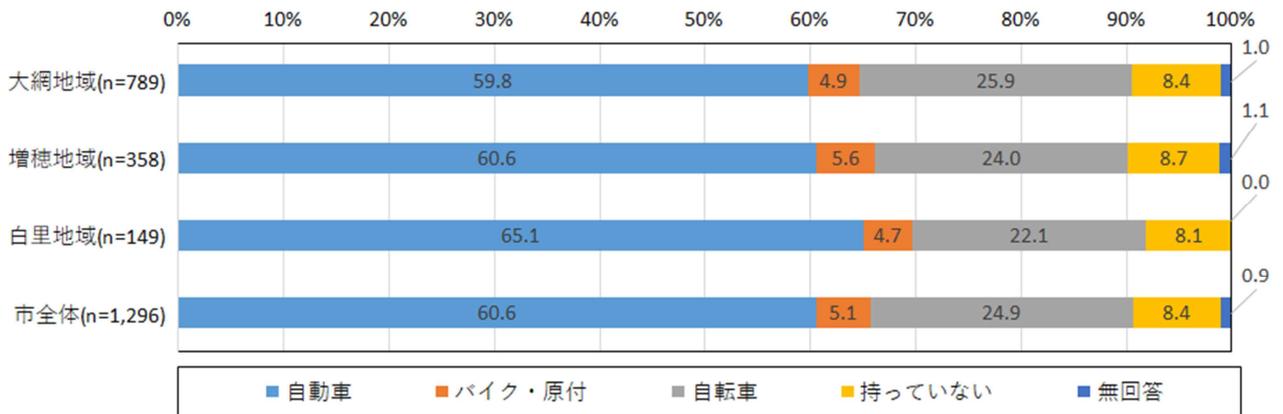
⑤運転免許証有無 (複数回答)



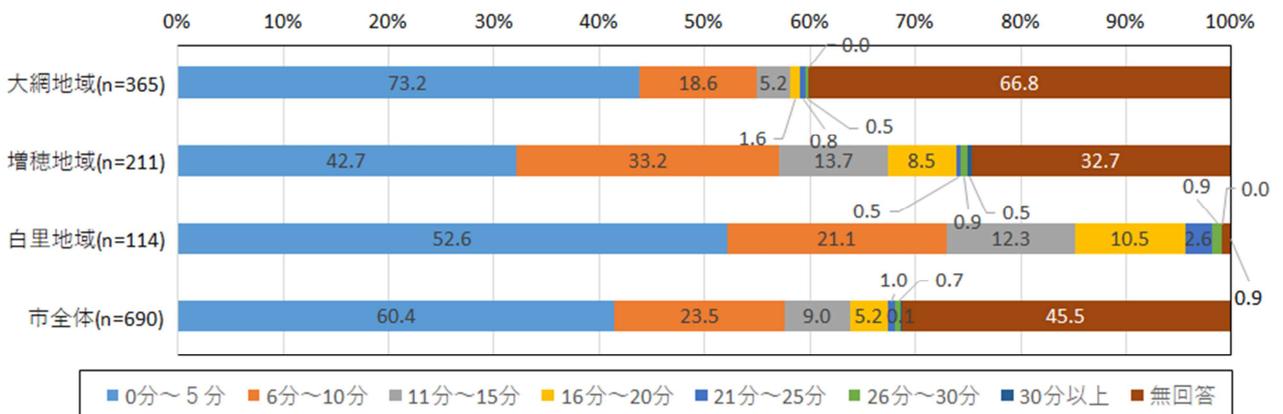
⑥ 運転免許返納意向



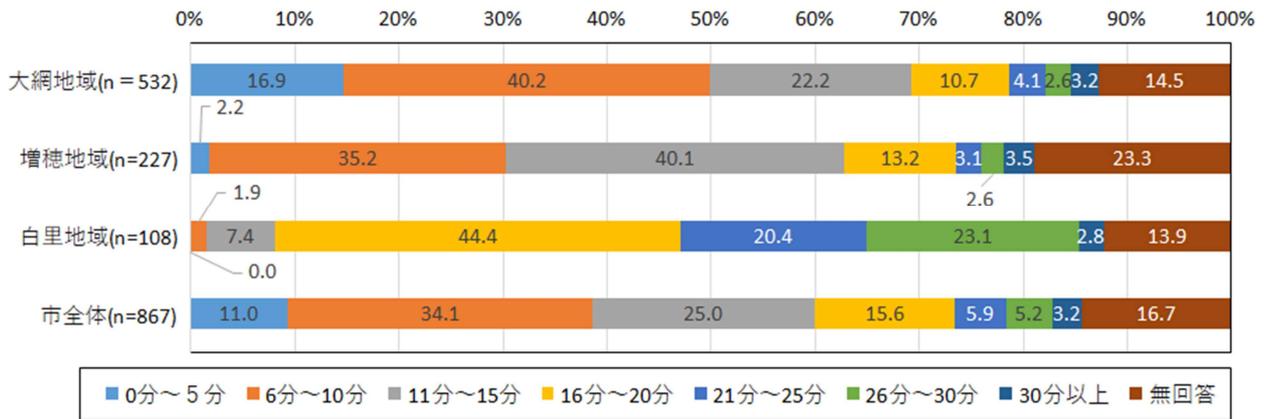
⑦ 車両所有状況（複数回答）



⑧ 自宅から最寄りバス停までの時間



⑨自宅から最寄り鉄道駅までの時間

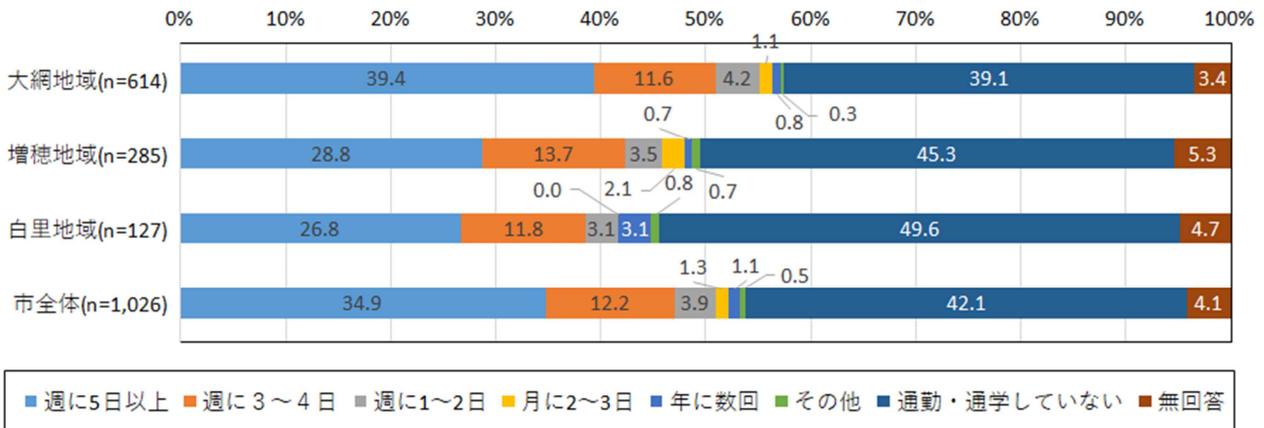


2. 日常の移動

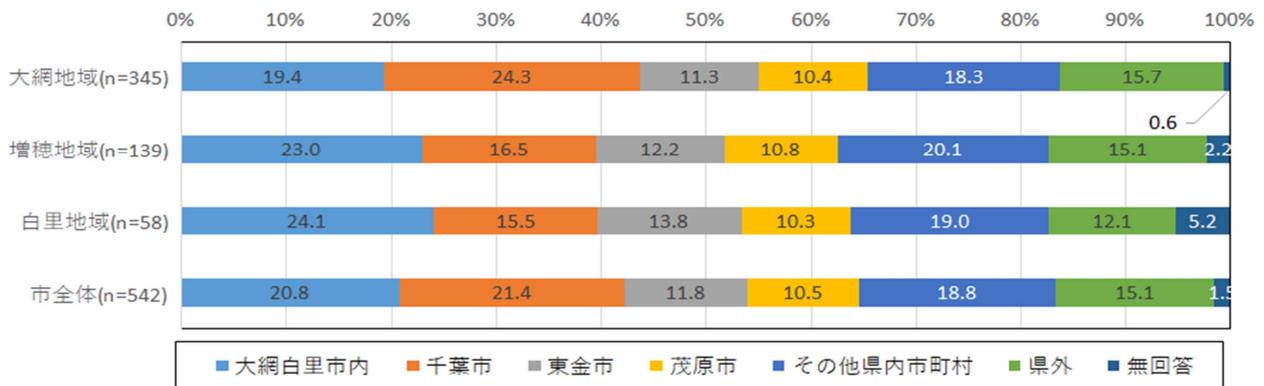
(1) 通勤・通学

通勤・通学の頻度は「週に5日以上」が34.9%と多く、主な行先は「千葉市」が21.4%、「大網白里市内」が20.8%となっています。また、利用する交通手段は「自家用車（自分で運転）」が42.2%と最も多くなっています。

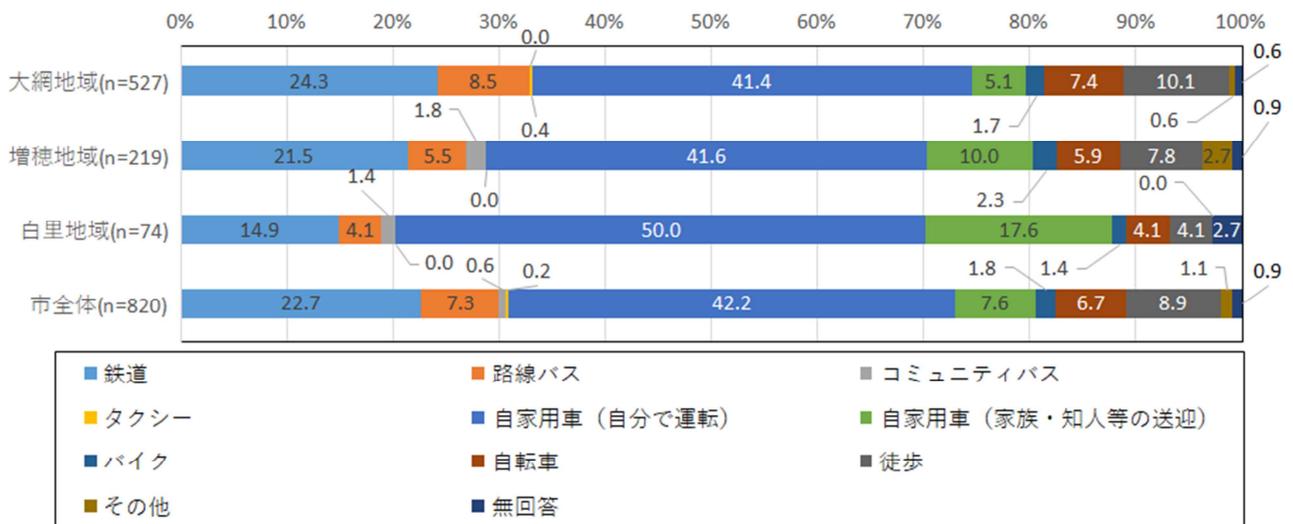
①通勤・通学の頻度



②通勤・通学の主な行先

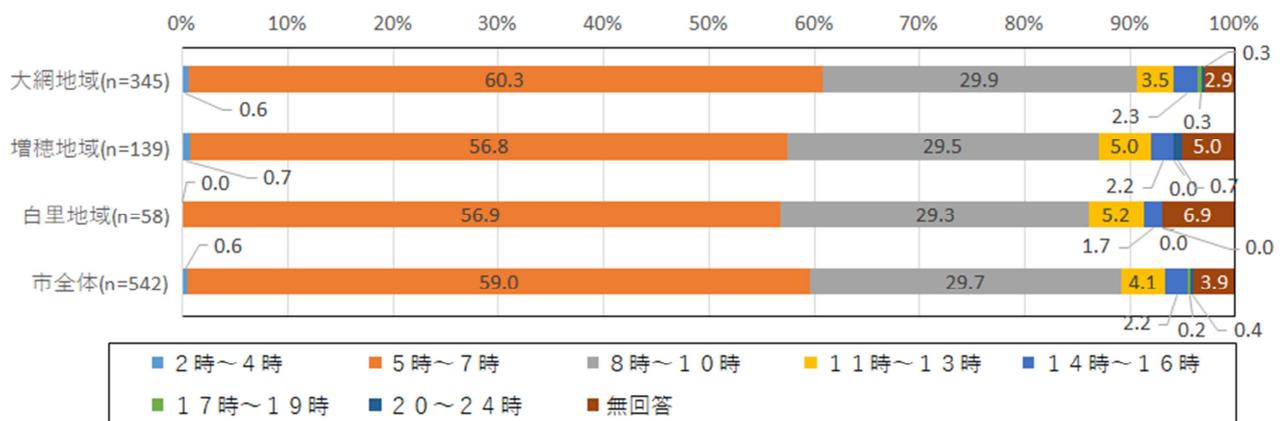


③通勤・通学に利用している交通手段

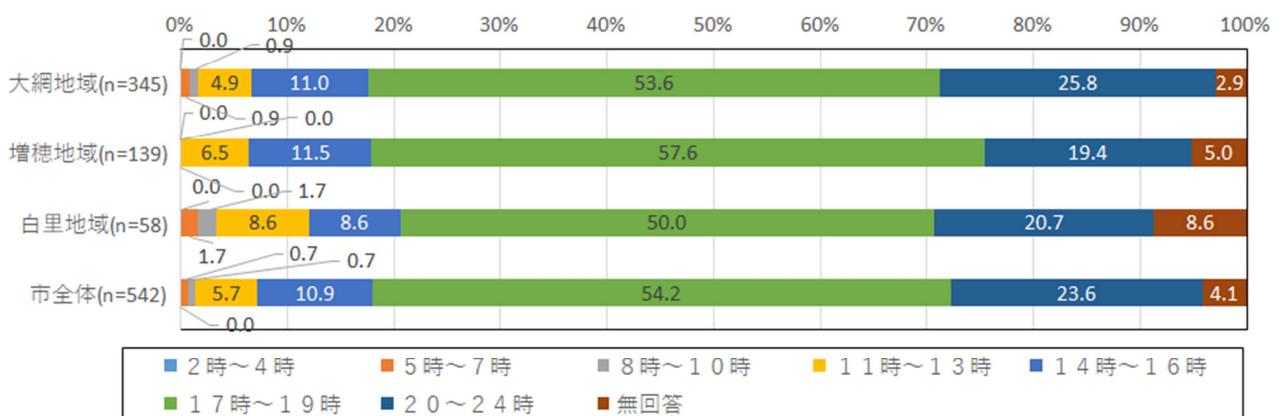


④通勤・通学の時間帯

(家を出る時間)



(帰宅する時間)



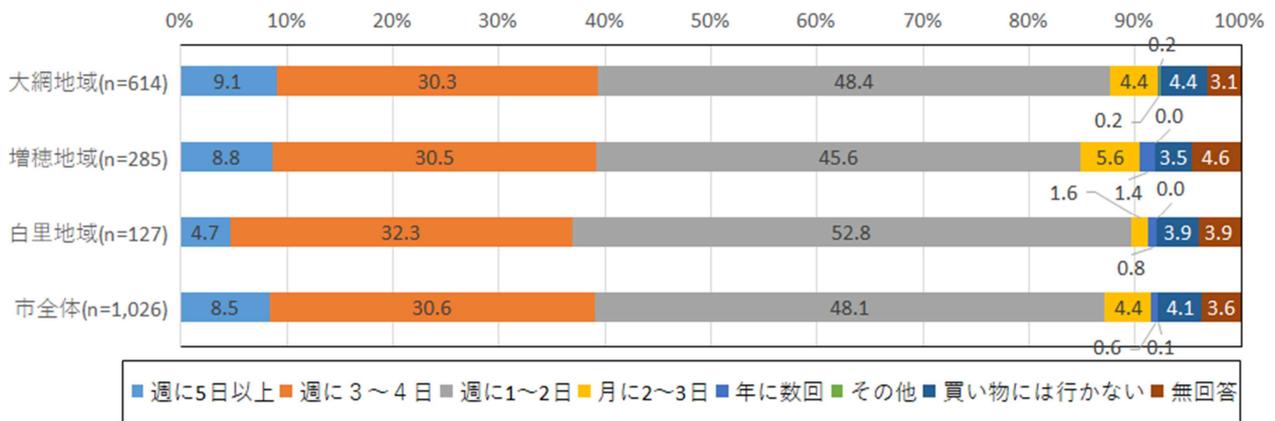
(2)「食料品・日用品」の買い物

「食料品・日用品」を買い物に行く頻度は「週に1~2回」が48.1%と多く、主な買い物先は「大網駅周辺以外の市内」が41.4%、「大網駅周辺」が32.4%となっており、多くの方が大網白里市内で買い物をしていることが分かります。

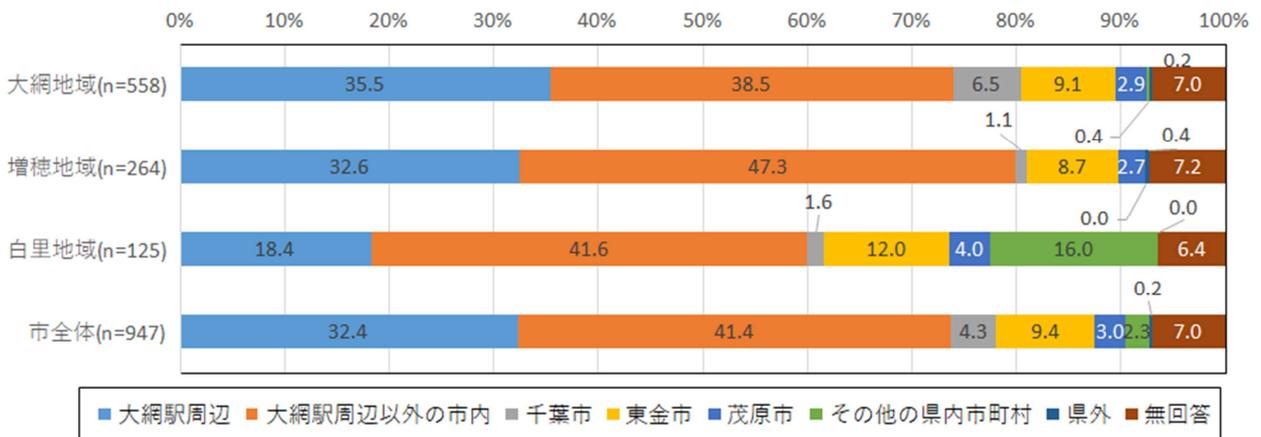
主な交通手段は「自家用車（自分で運転）」が53.7%で最も多くなっています。

買い物に出かける時間帯は、家を出る時間帯が「8時~10時（37.7%）」、帰宅する時間が「11時~13時（37.5%）」と多くなっています。

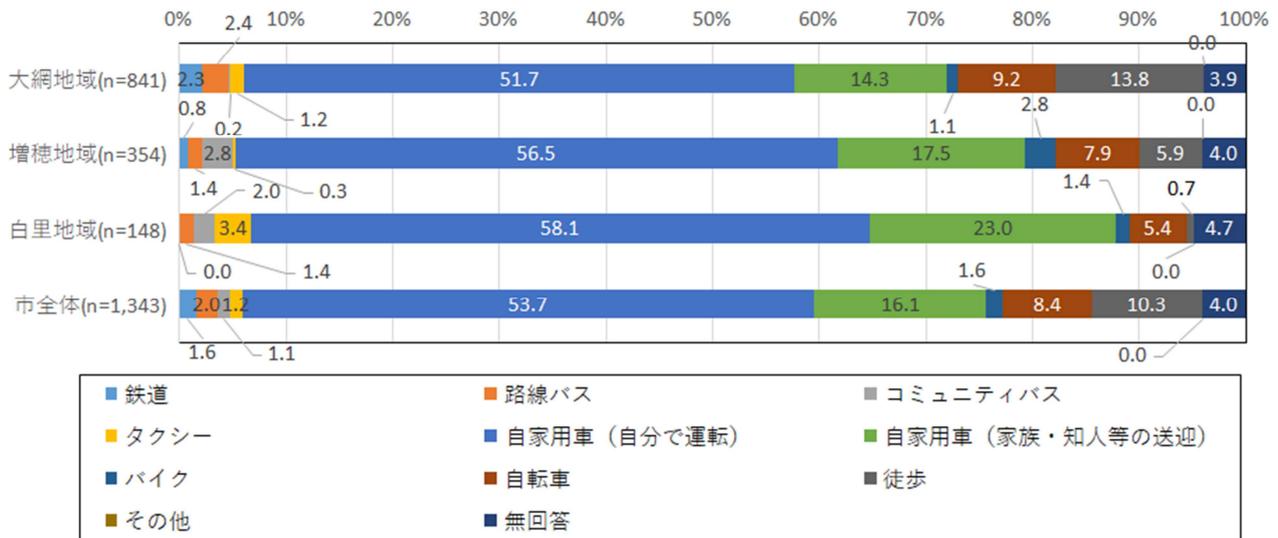
①買い物の頻度



②主な買い物先

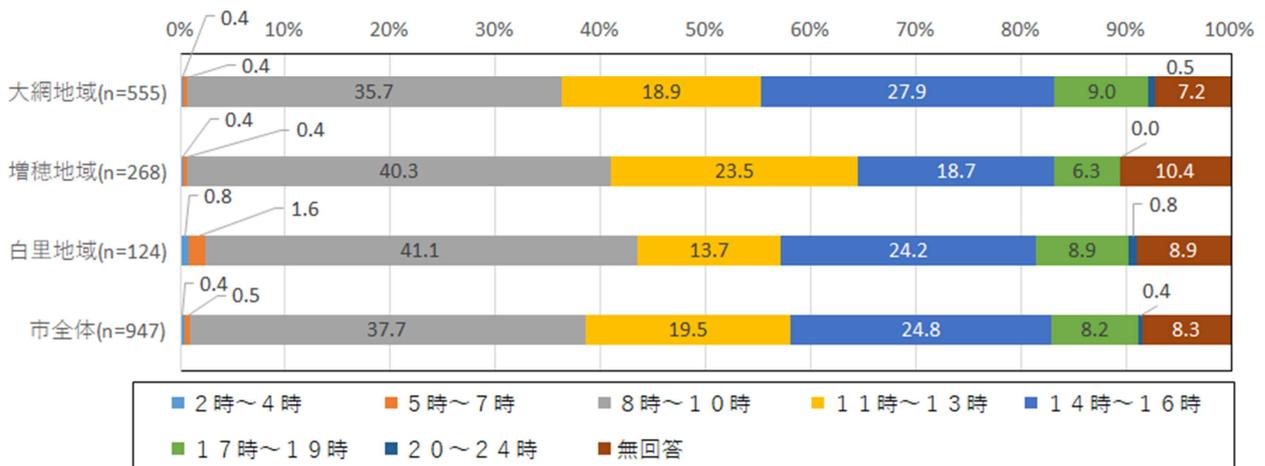


③買い物に利用している交通手段

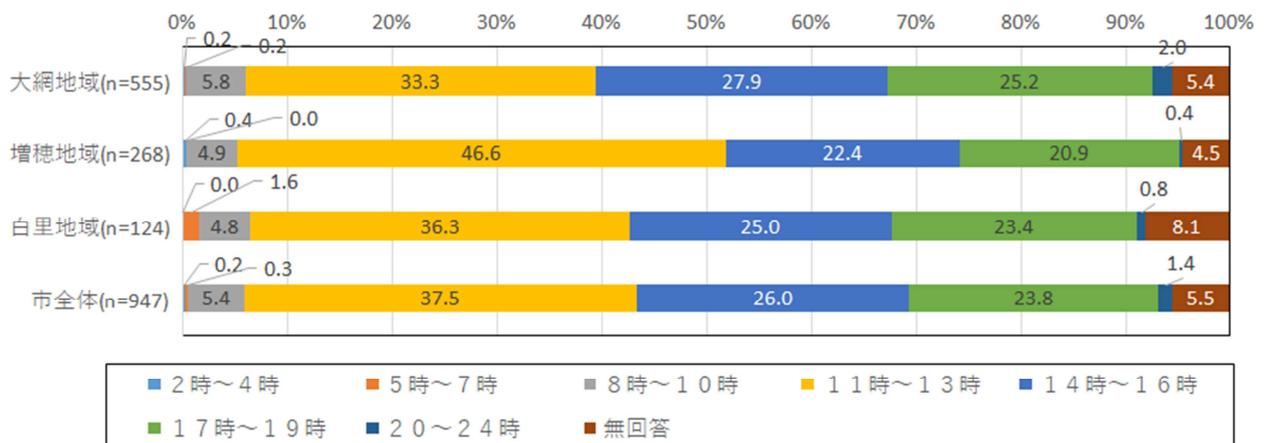


④買い物に出かける時間帯

(家を出る時間)



(帰宅する時間)

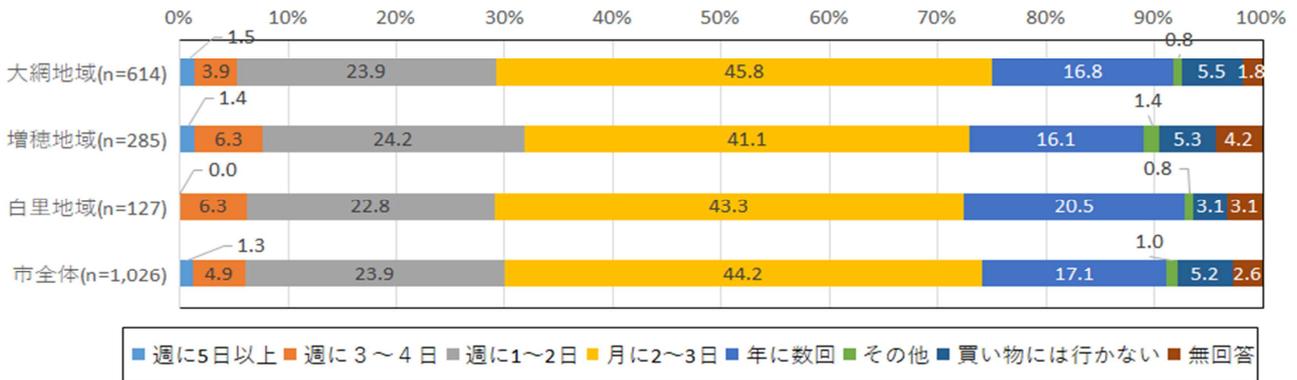


(3) 「食料品・日用品以外」の買い物（衣料品、嗜好品等）

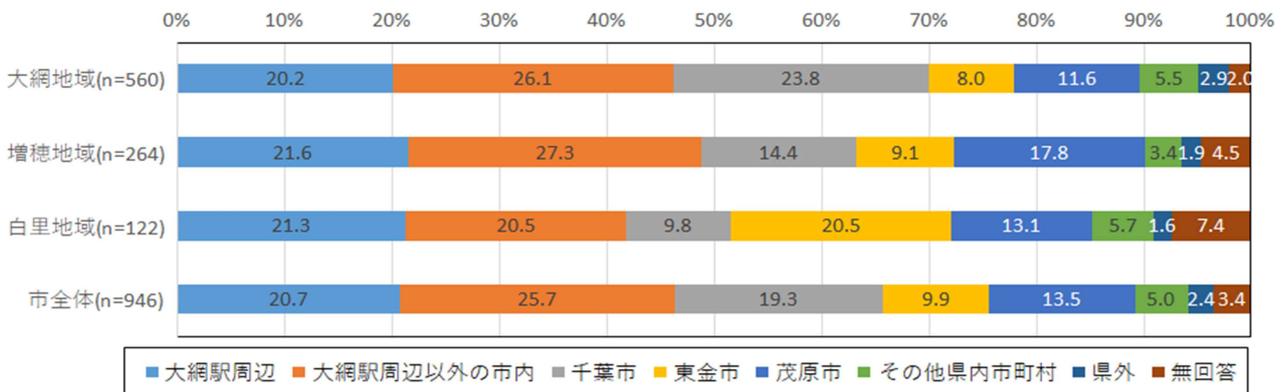
「食料品・日用品以外」の買い物の頻度は「月に2～3日」が44.2%で多く、主な買い物先は「大網駅周辺以外の市内」が25.7%、「大網駅周辺」が20.7%となっており、約半数の方が大網白里市内で買い物をしていることが分かります。

主な交通手段は「自家用車（自分で運転）」が53.1%で最も多くなっています。

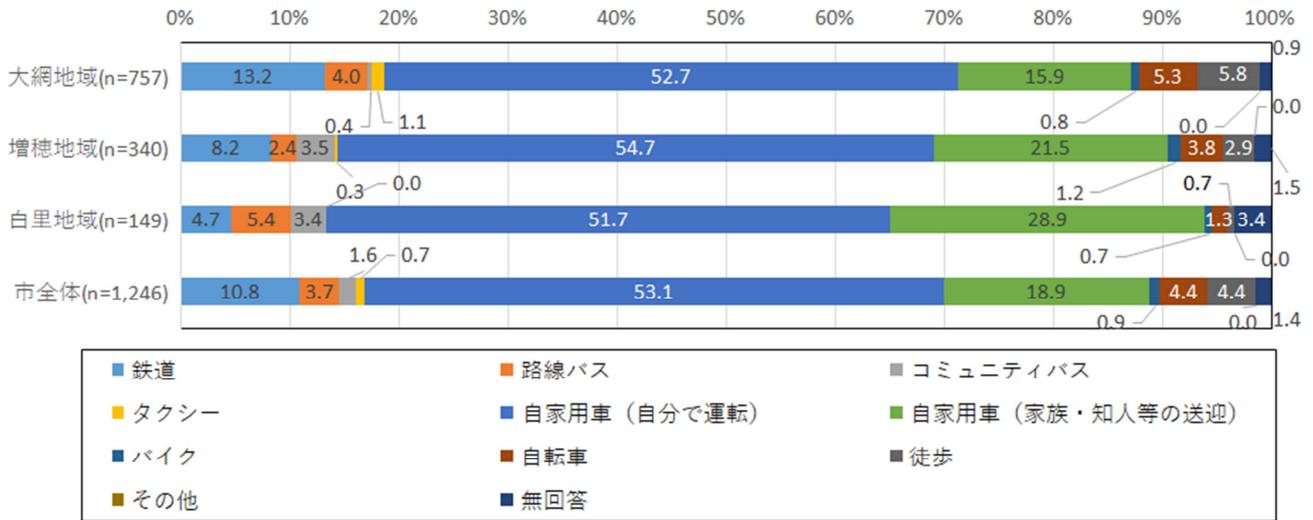
①買い物の頻度



②主な買い物先



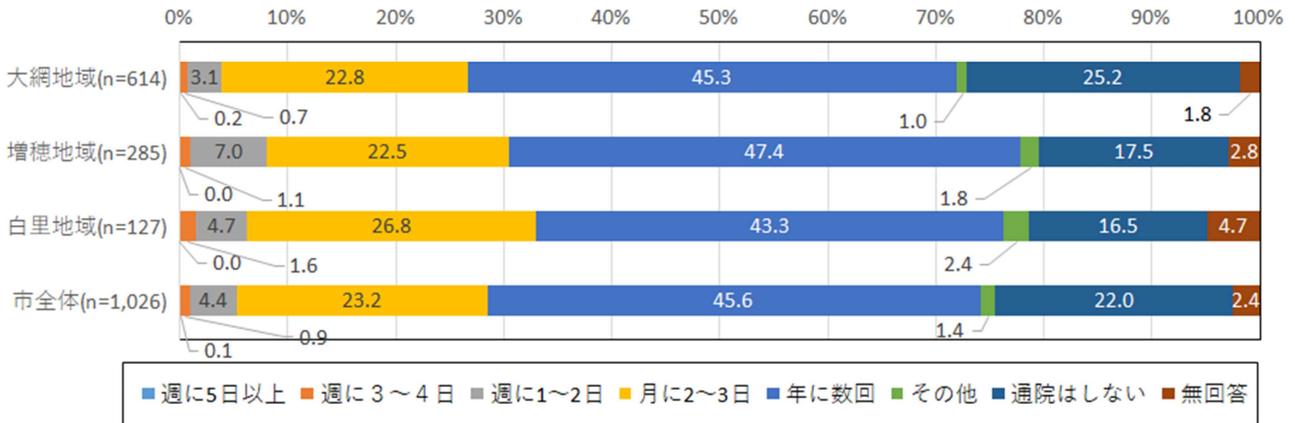
③買い物に利用している交通手段



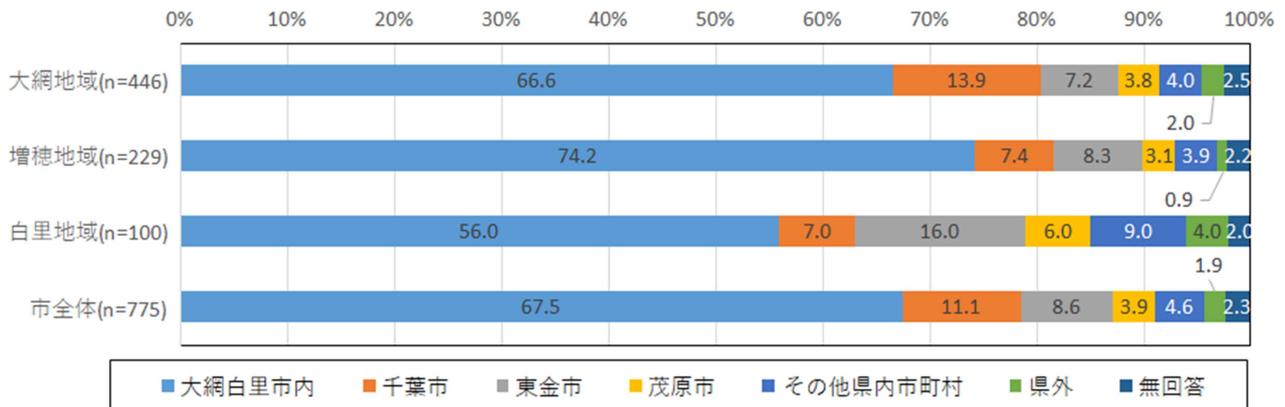
(4) 通院

通院の頻度は「年に数回」が45.6%と多く、主な通院先は「大網白里市内」で67.5%でした。主な交通手段は「自家用車 (自分で運転)」が55.0%で最も多くなっています。通院に行く時間帯は、家を出る時間帯が「8時～10時」で59.7%、帰宅する時間が「11時～13時」で47.6%と多くなっています。

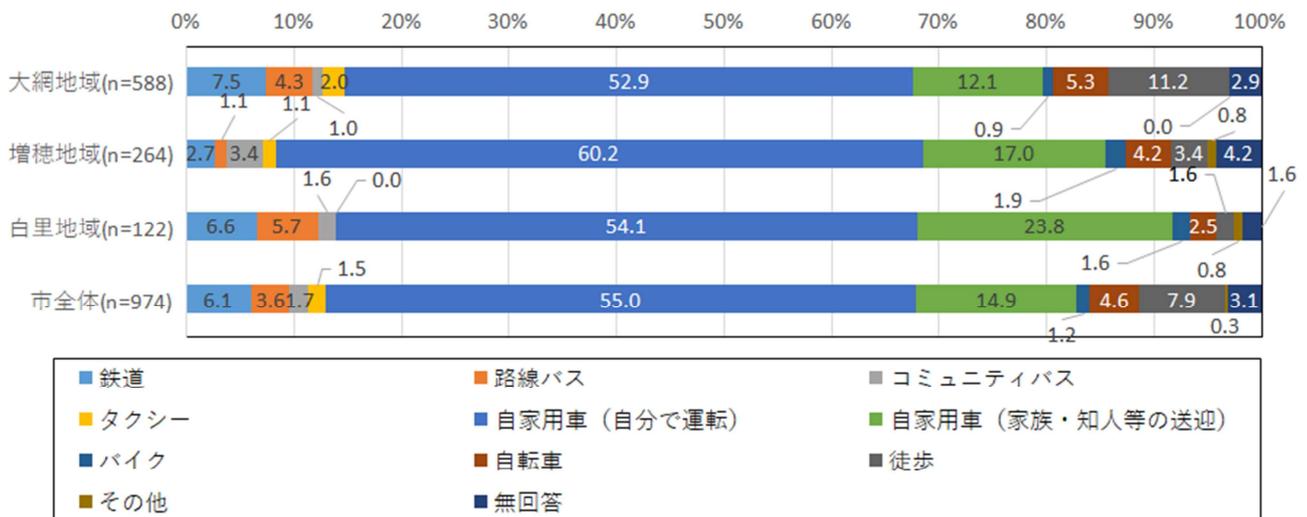
①通院の頻度



②通院の主な行き先

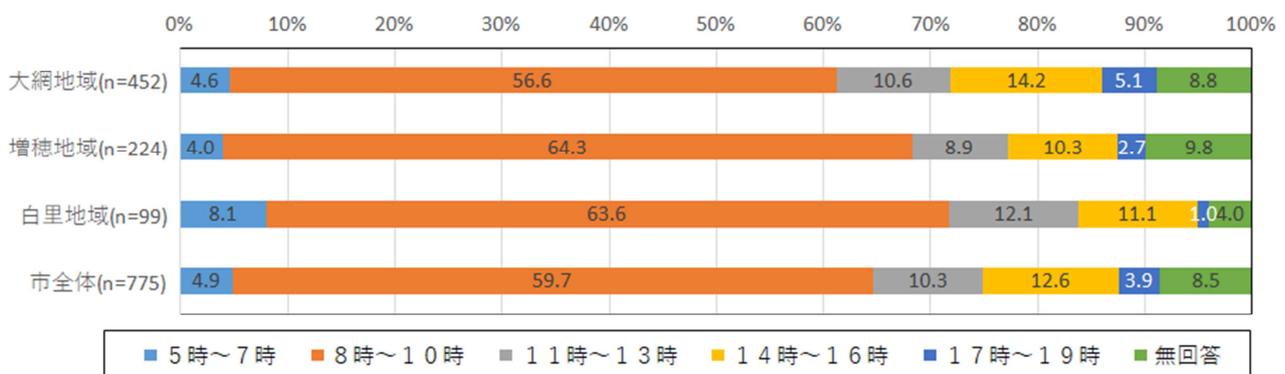


③通院に利用している交通手段

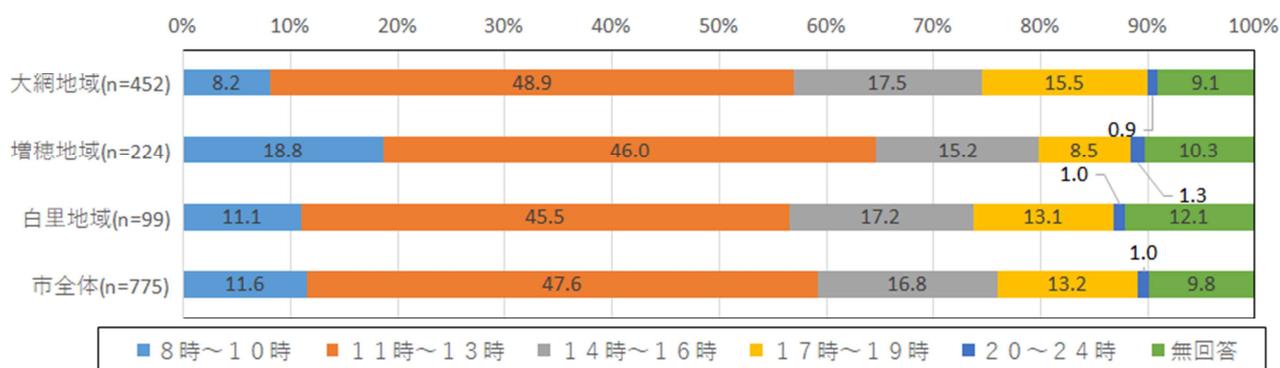


④通院に行く時間帯

(家を出る時間)



(帰宅する時間)



3. 公共交通の利用状況

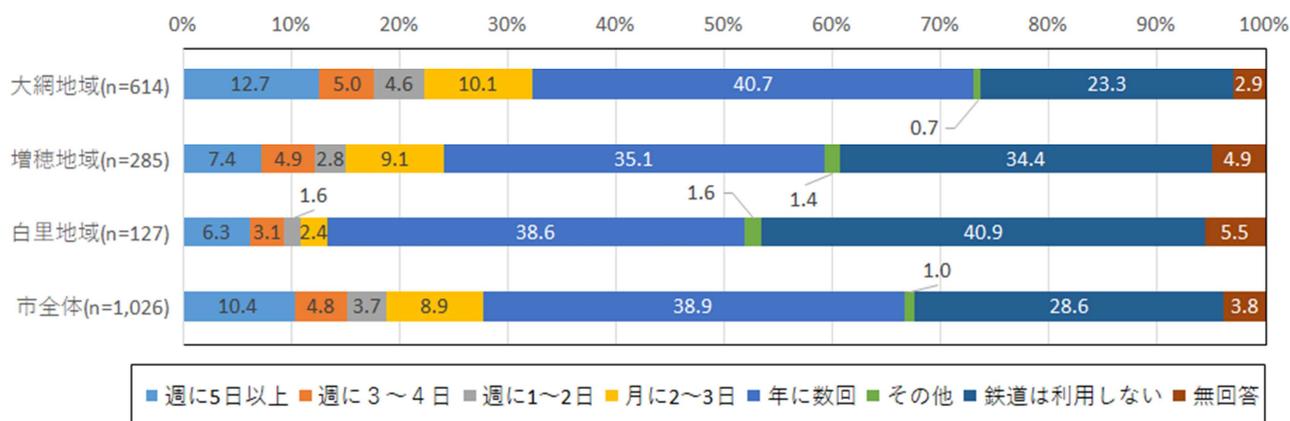
(1) 鉄道の利用実態・意識・満足度

鉄道の利用頻度は、66.7%の方が利用しており、「年に数回（38.9%）」と低頻度の利用割合が多く、その利用目的は、「趣味・習い事（31.3%）」、「買い物（27.3%）」が多くなっています。

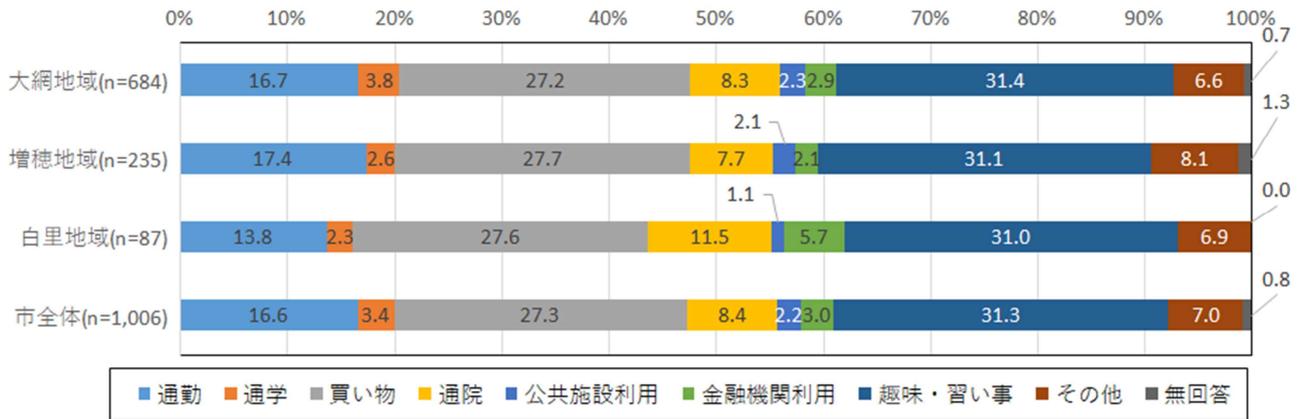
鉄道を利用しない理由は、「自動車・バイクの移動手段がある（56.8%）」が多くなっています。

運行サービスに対する満足度は、「運行本数・運行時間帯」、「時刻表等の運行情報案内」、「駅の快適さ・バリアフリー等」で「満足」と「やや満足」と回答した方の割合が高く、「鉄道・バスとの乗継ぎやすさ」で「不満」と「やや不満」と回答した方の割合が高くなっています。

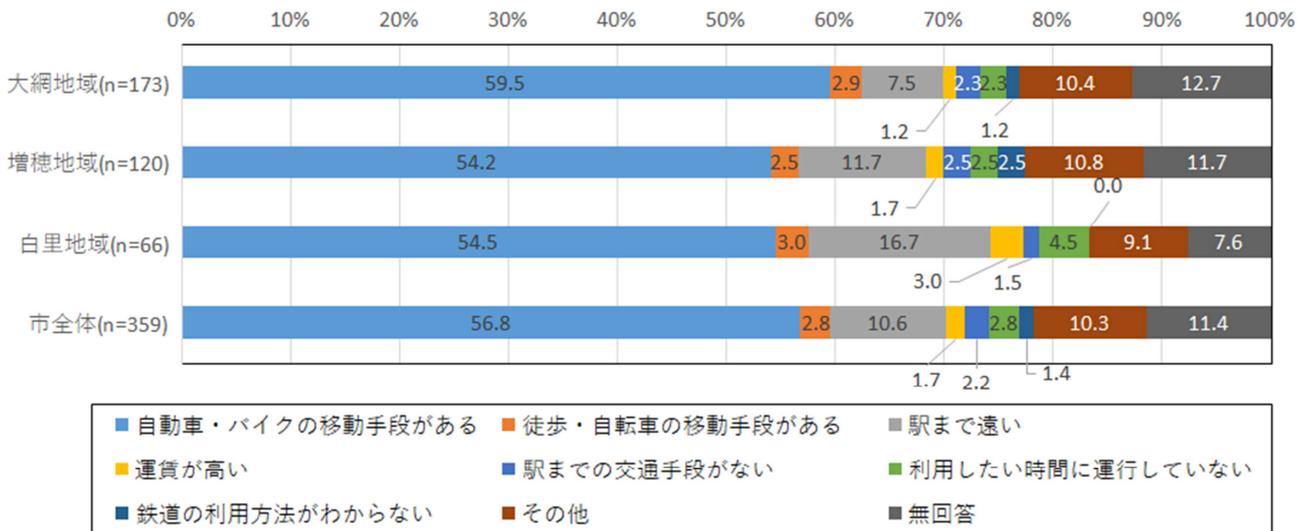
①鉄道の利用頻度



②鉄道の利用目的

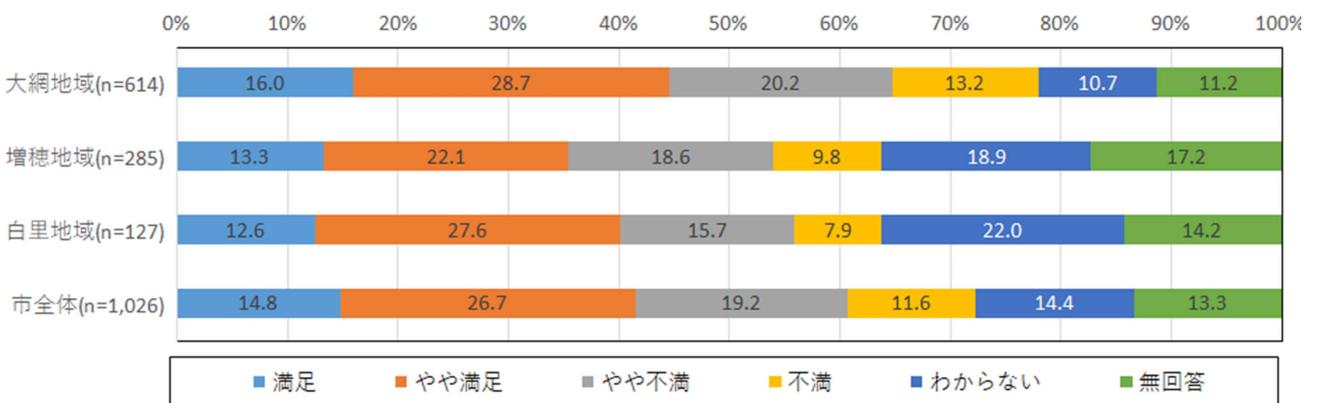


③鉄道を利用しない理由

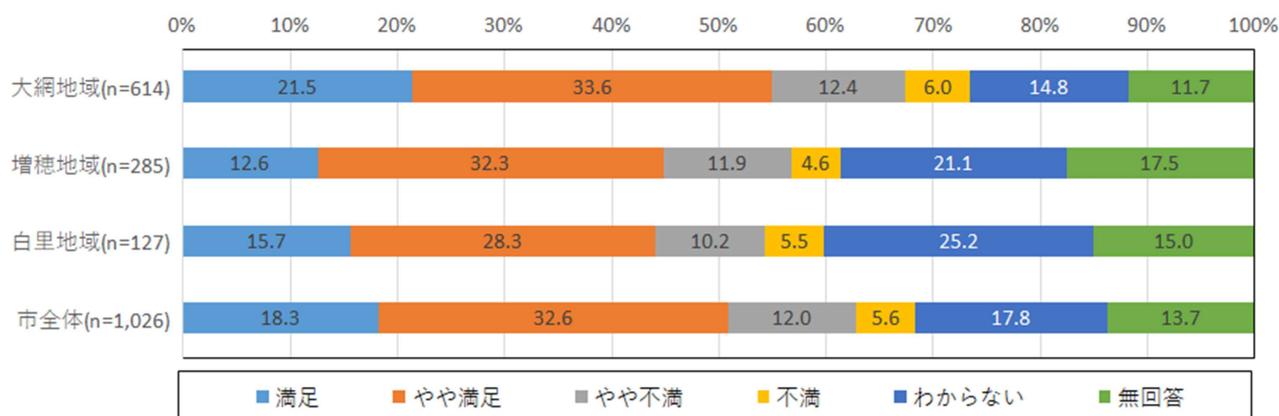


④鉄道の運行サービスに対する満足度

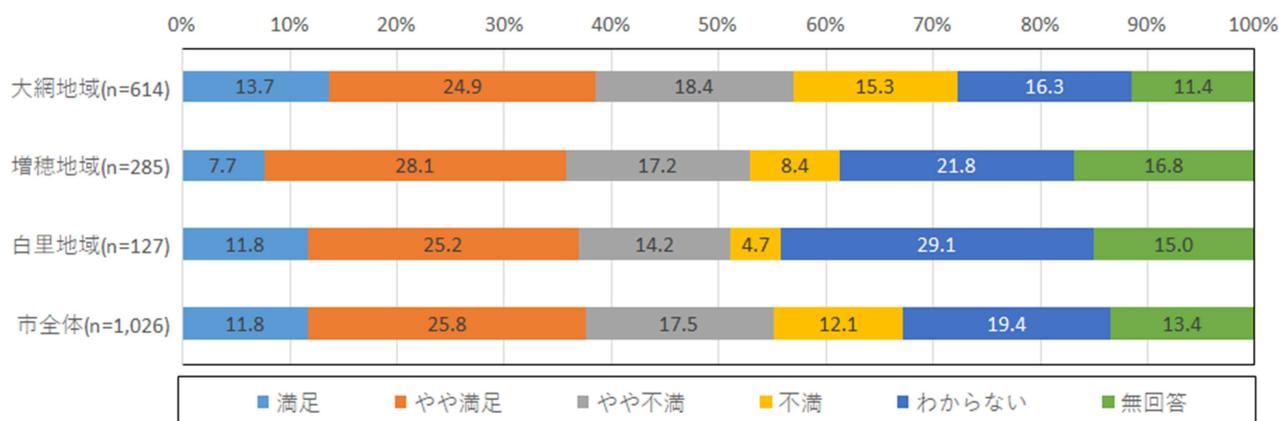
(運行本数・運行時間帯)



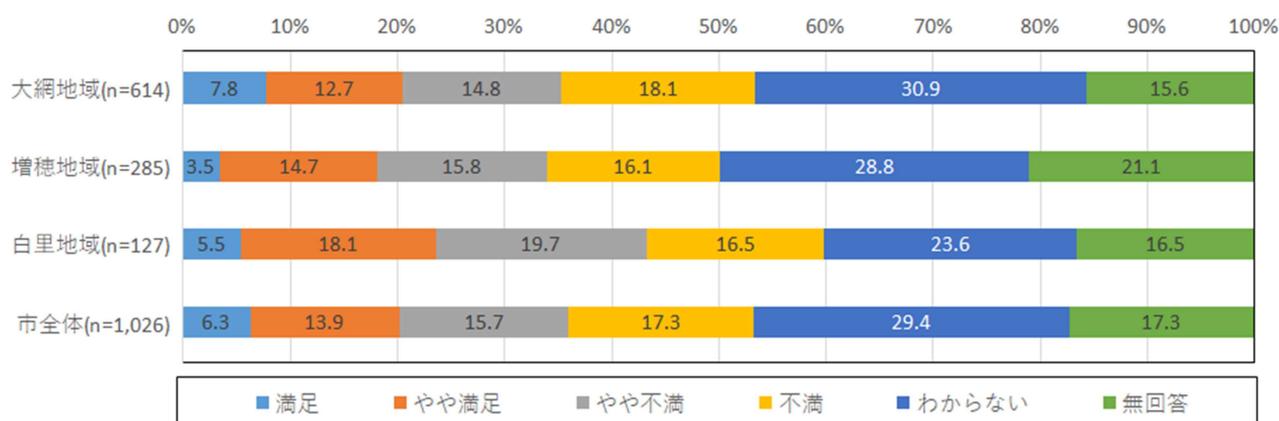
(時刻表等の運行情報案内)



(駅の快適さ・バリアフリー等)



(鉄道・バスとの乗継ぎやすさ)



(2) 路線バス等（コミュニティバス含む）の利用状況

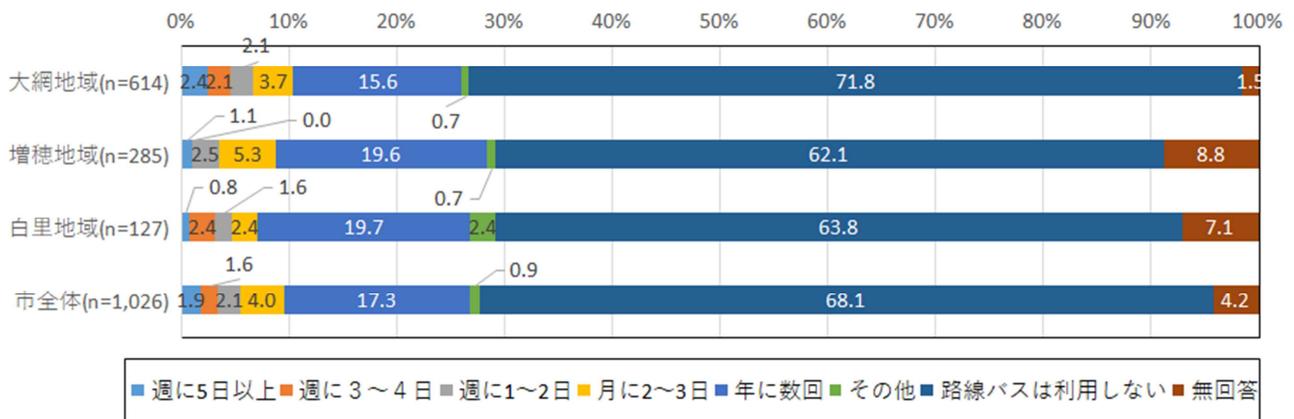
路線バス等の利用頻度は、26.9%の方が利用していますが、「年に数回（17.3%）」と回答した方が多くなっています。なお、68.1%の方が「路線バスは利用しない」と回答しています。

利用目的は、「趣味・習い事（25.7%）」、「買い物（23.2%）」、「通院（15.3%）」の順で多くなっています。

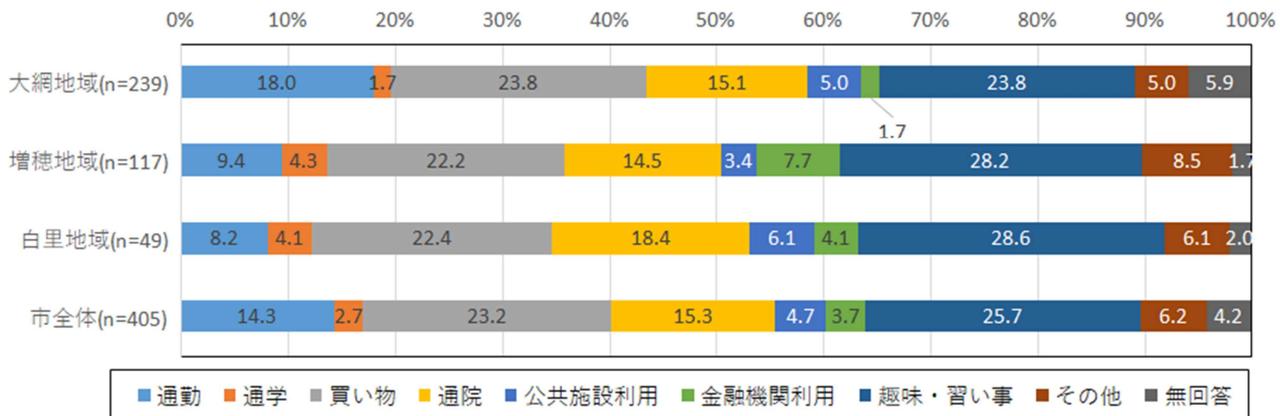
路線バス等を利用しない理由は、「自動車・バイクの移動手段がある」が43.2%と多くなっています。

運行サービスに対する満足度は、「運行ルート」を除く全ての項目で「不満」、「やや不満」と回答した方の割合が高くなっています。

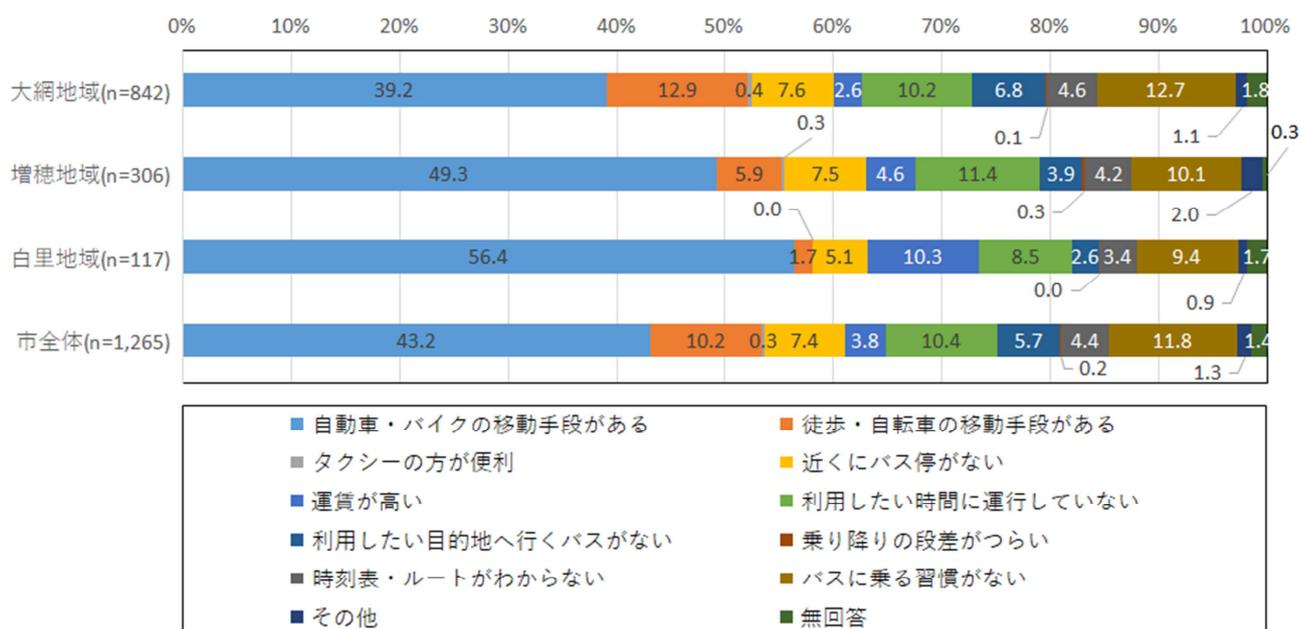
① 路線バス等の利用頻度



② 路線バス等の利用目的

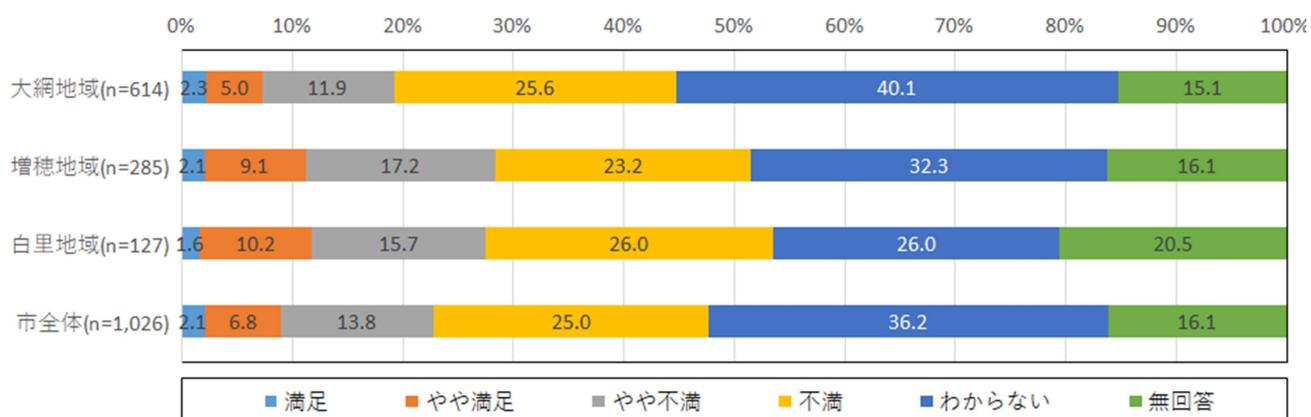


③路線バス等を利用しない理由

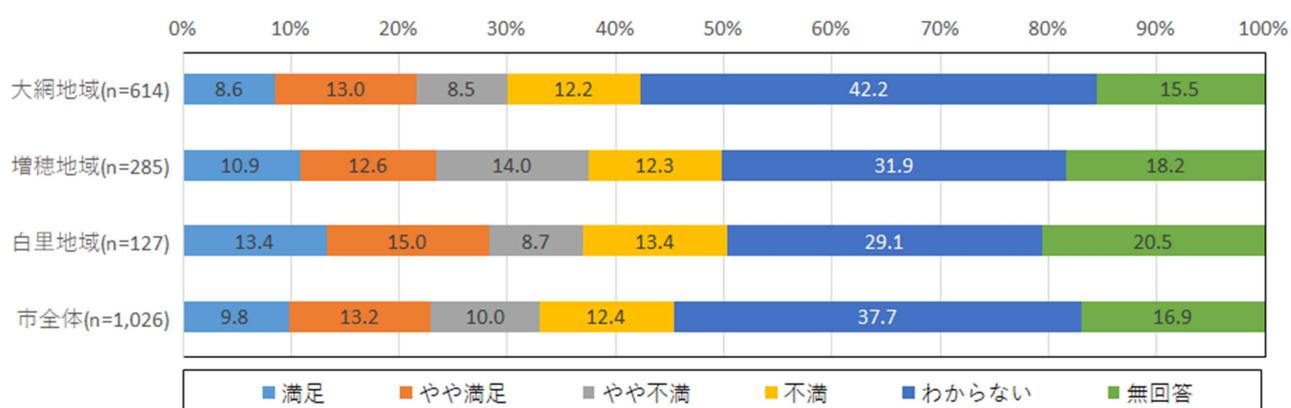


④路線バス等の運行サービスに対する満足度

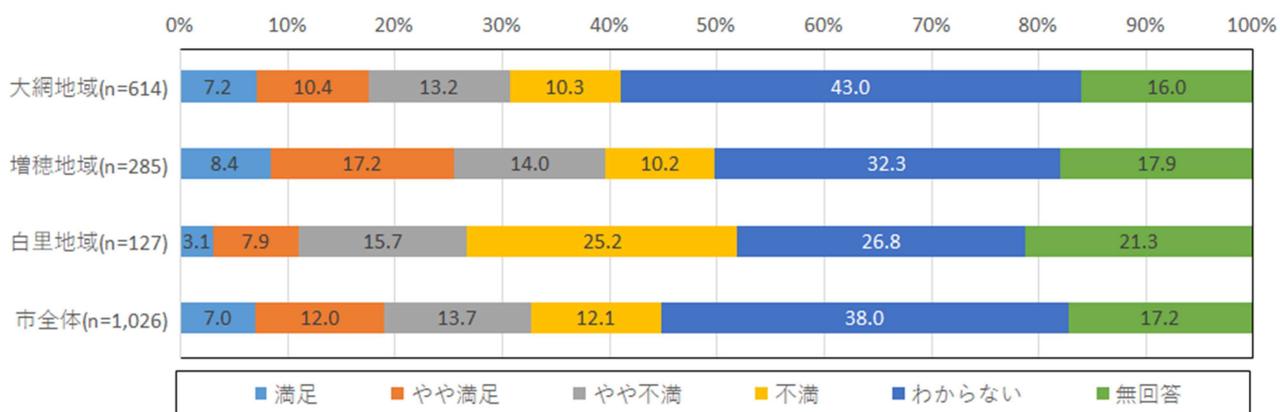
(運行本数・運行時間帯)



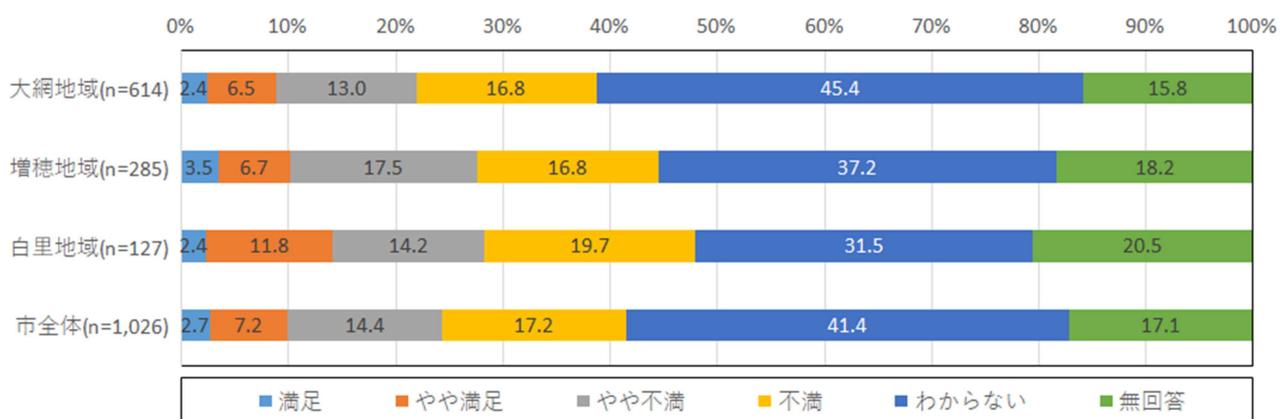
(運行ルート)



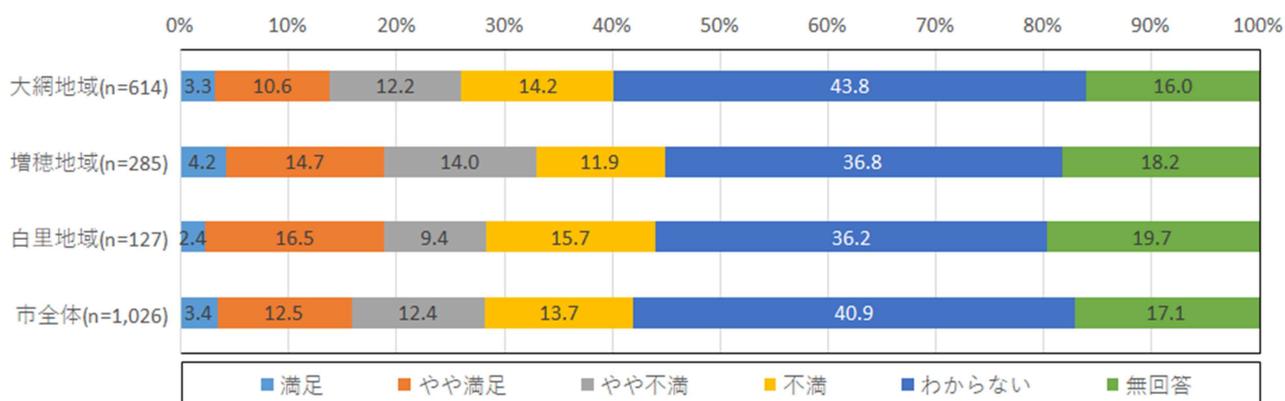
(運賃)



(鉄道・その他バスとの乗継ぎ)



(時刻表等の運行情報案内)



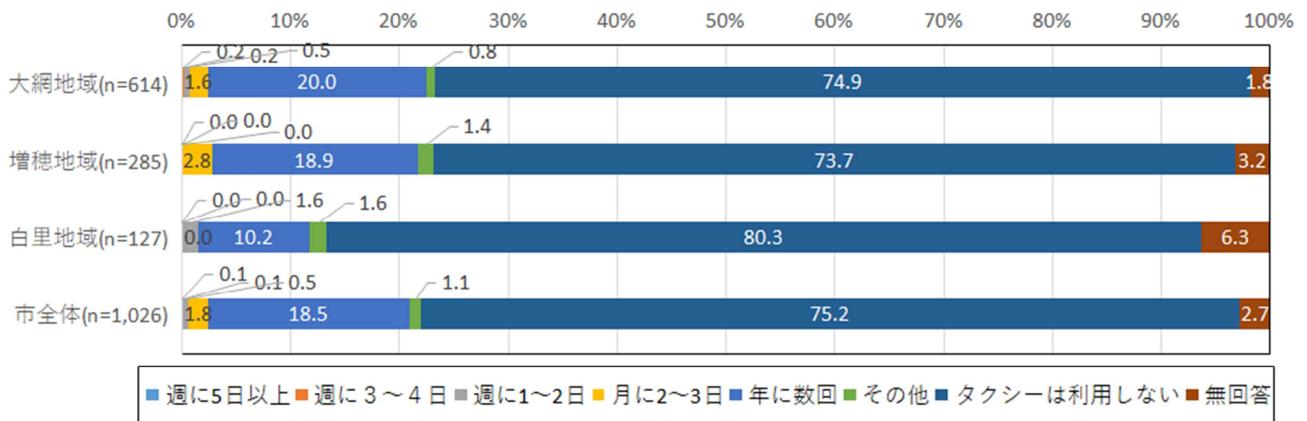
(3) タクシーの利用状況

タクシーの利用頻度は、「年に数回」と回答した方が18.5%と一番多くなっています。なお、75.2%の方が「タクシーは利用しない」と回答しています。

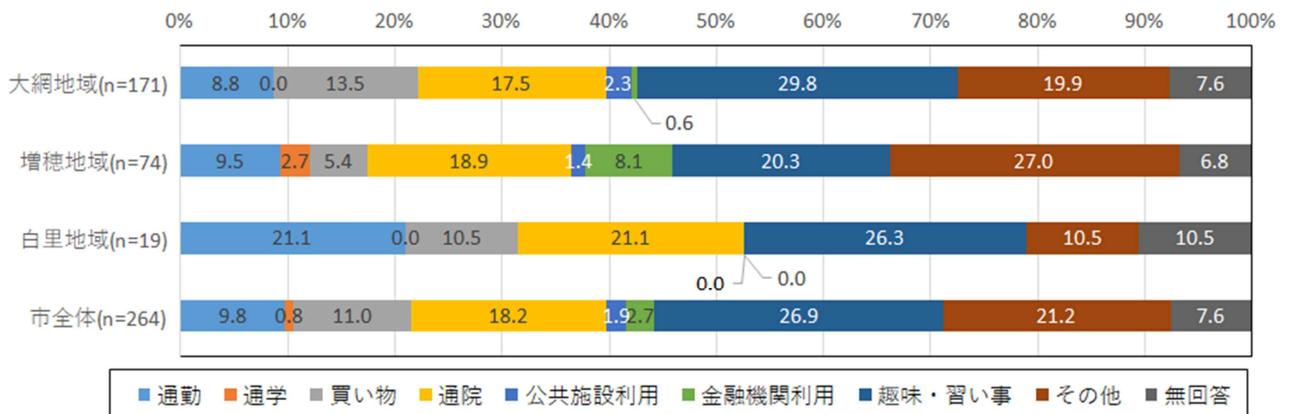
タクシーの利用目的は、「趣味・習い事」に利用している方が26.9%と一番多く、次に「その他(21.2%)」、「通院(18.2%)」の順になっています。なお、「その他」の意見としては、「家族が迎えに来れないとき」や「終バスが出てしまったとき」等の回答がありました。

タクシーの運行サービスに対する満足度は、全ての項目で「やや満足」「満足」と回答した方の割合が高くなっています。

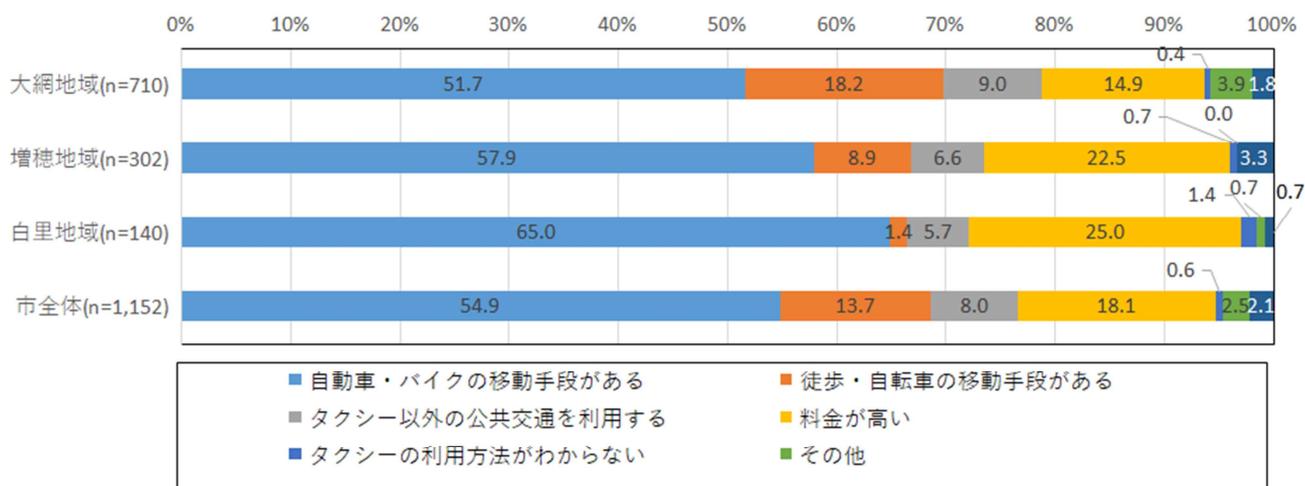
① タクシーの利用頻度



② タクシーの利用目的

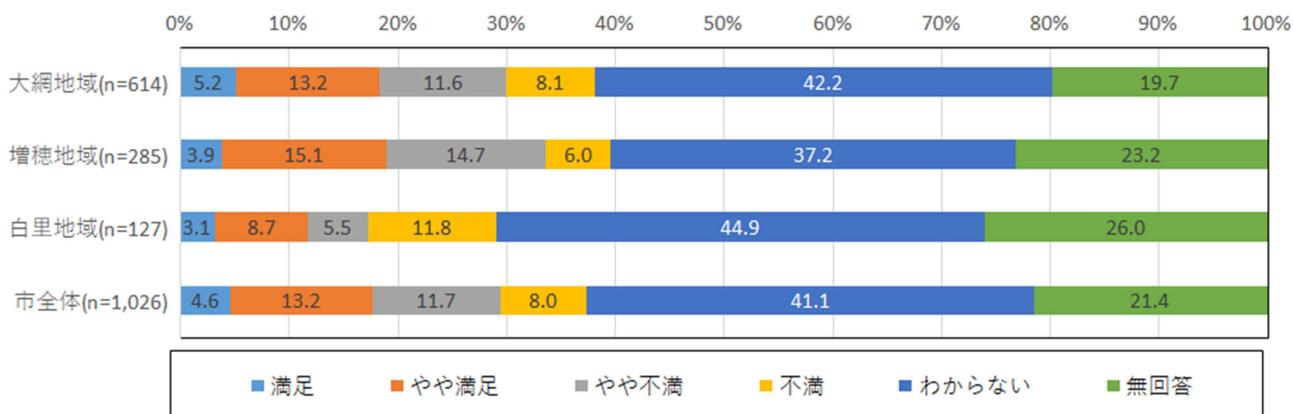


③タクシーを利用しない理由

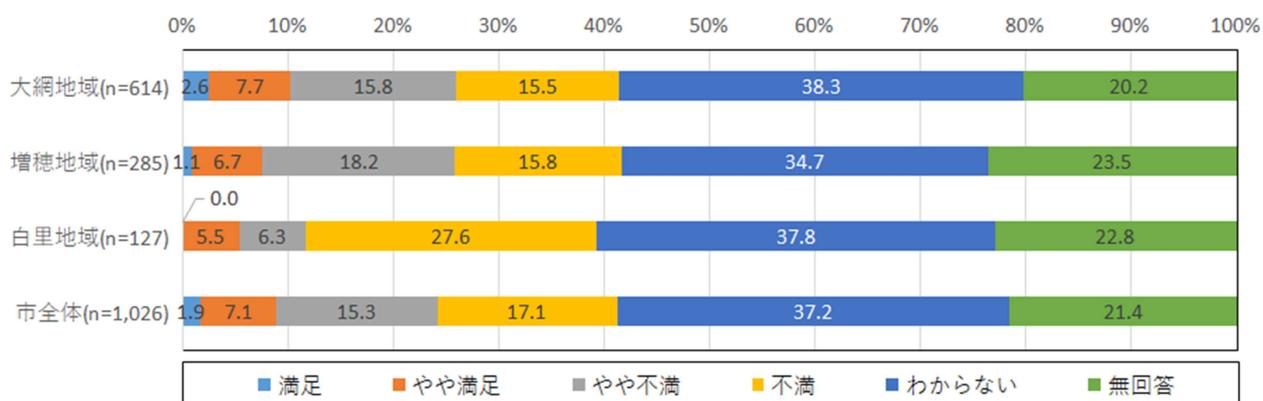


④タクシーの運行サービスに対する満足度

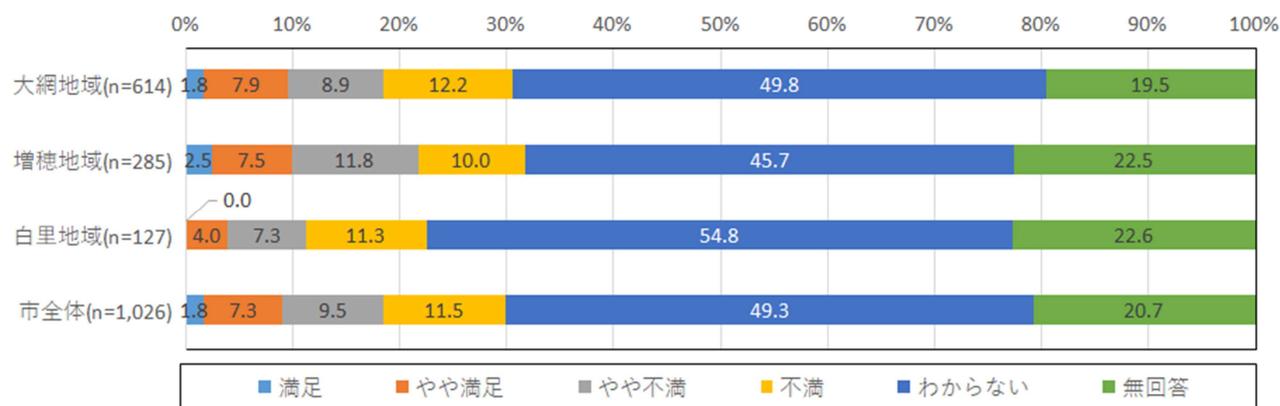
(利用のしやすさ)



(運賃)



(営業時間等の営業情報)



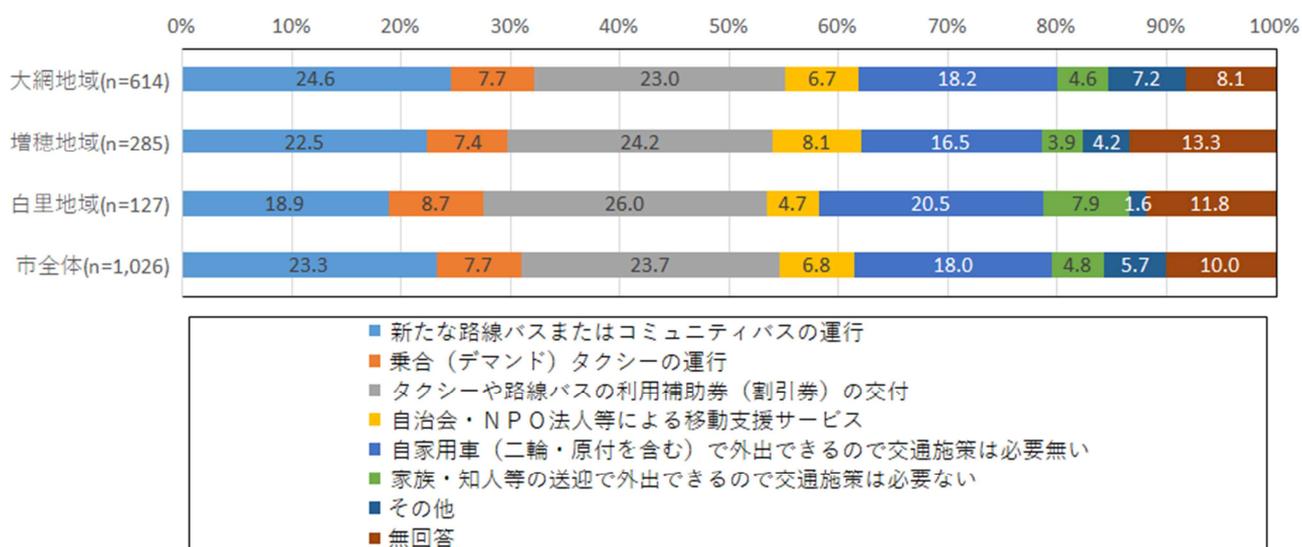
3. 公共交通の今後のあり方

(1) 公共交通施策

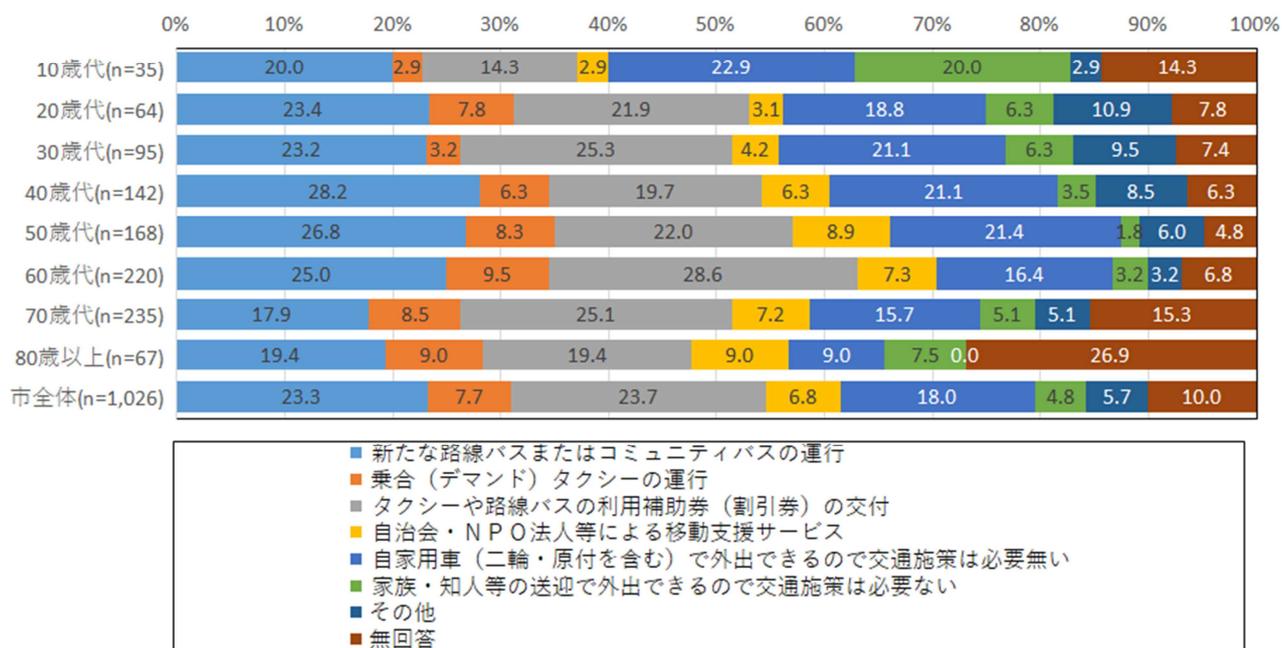
導入したほうがよいと思う交通施策は、「タクシーや路線バスの利用補助券（割引券）の交付」が23.7%と多く、次に「新たな路線バスまたはコミュニティバスの運行」が23.3%となっています。

また年代別では、10歳代から50歳代までは「自家用車（二輪、原付を含む）で外出できるので交通施策は必要無い」の回答率も高くなっています。

【地域別】



【年代別】

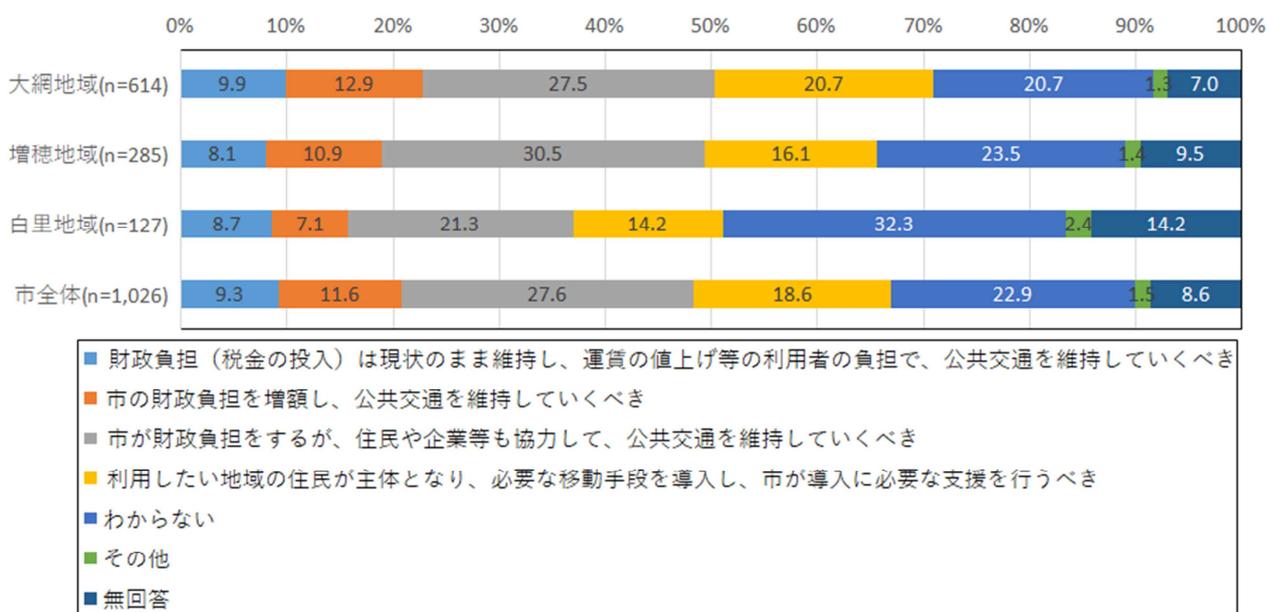


(2) 公共交通の今後のあり方

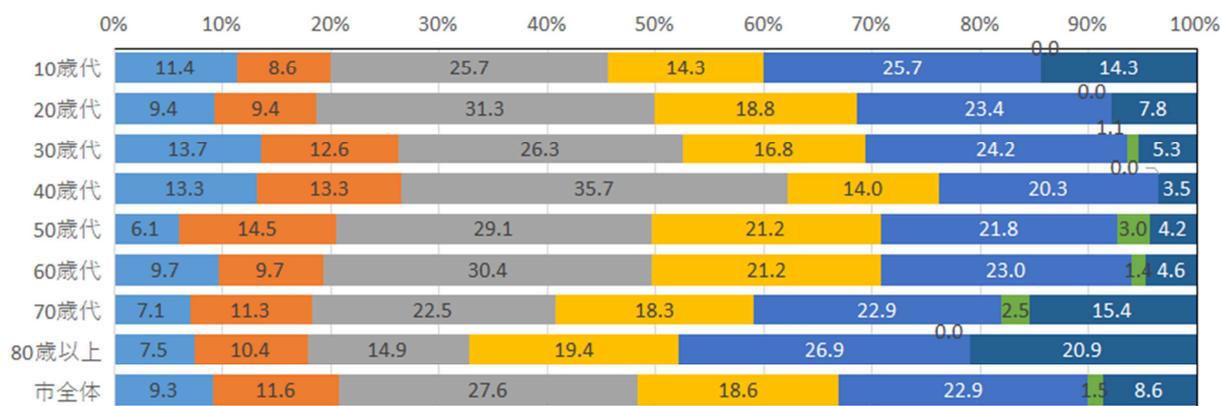
市の財政負担については「市が財政負担をするが、住民や企業等も協力して、公共交通を維持していくべき」が27.6%で最も多く、次に「利用したい地域の住民が主体となり、必要な移動手段を導入し、市が導入に必要な支援を行うべき」が18.6%となっています。このことから、公共交通の維持は行政と地域住民が協力して行っていくべきとの傾向が見られます。

年代別でも、各年代で同様の傾向が見られます。

【地域別】



【年代別】

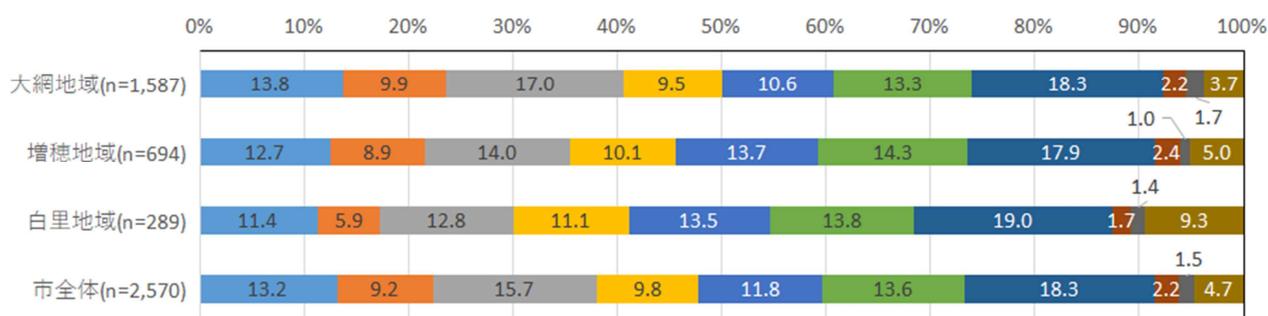


- 財政負担(税金の投入)は現状のまま維持し、運賃の値上げ等の利用者の負担で、公共交通を維持していくべき
- 市の財政負担を増額し、公共交通を維持していくべき
- 市が財政負担をするが、住民や企業等も協力して、公共交通を維持していくべき
- 利用したい地域の住民が主体となり、必要な移動手段を導入し、市が導入に必要な支援を行うべき
- わからない
- その他
- 無回答

(3) 公共交通の利用促進

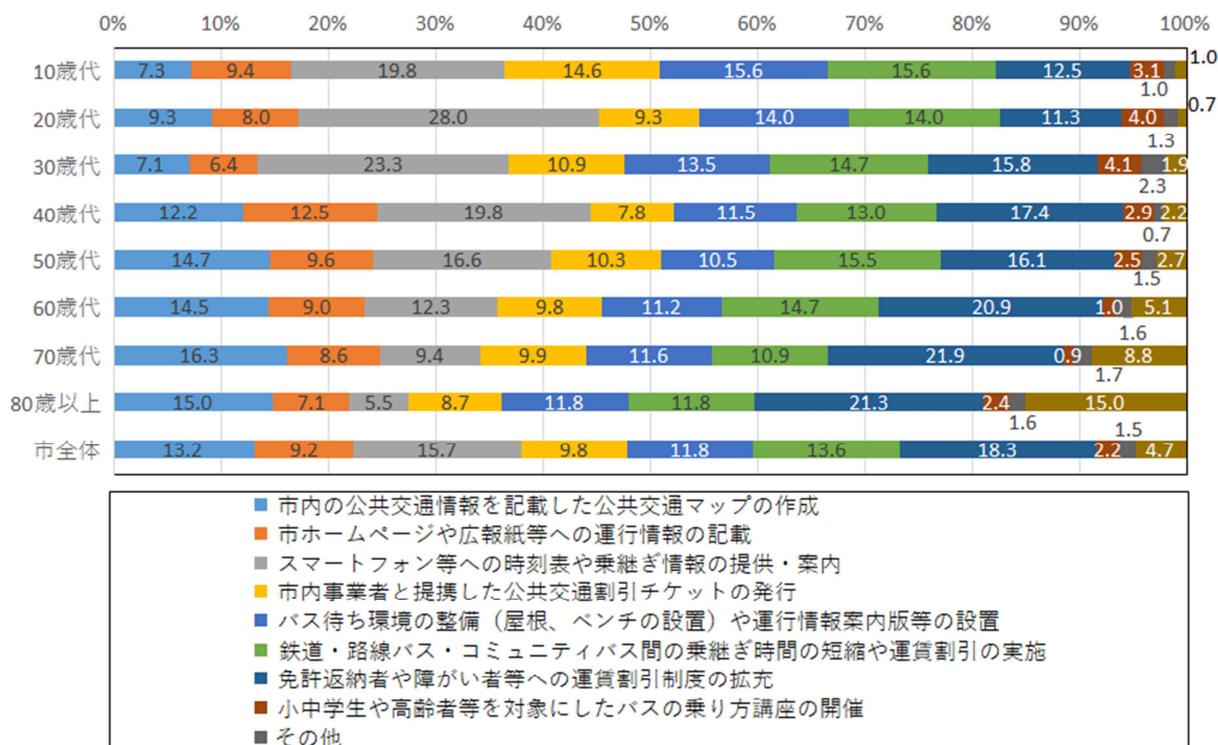
公共交通の利用を促進する取組は「免許返納者や障がい者等への運賃割引制度の拡充(18.3%)」、「スマートフォン等への時刻表や乗継ぎ情報の提供・案内(15.7%)」、「鉄道・路線バス・コミュニティバス間の乗継ぎ時間の短縮や運賃割引の実施(13.6%)」の順に高くなっています。

【地域別】



- 市内の公共交通情報を記載した公共交通マップの作成
- 市ホームページや広報紙等への運行情報の記載
- スマートフォン等への時刻表や乗継ぎ情報の提供・案内
- 市内事業者と提携した公共交通割引チケットの発行
- バス待ち環境の整備(屋根、ベンチの設置)や運行情報案内版等の設置
- 鉄道・路線バス・コミュニティバス間の乗継ぎ時間の短縮や運賃割引の実施
- 免許返納者や障がい者等への運賃割引制度の拡充
- 小中学生や高齢者等を対象にしたバスの乗り方講座の開催
- その他
- 無回答

【年代別】

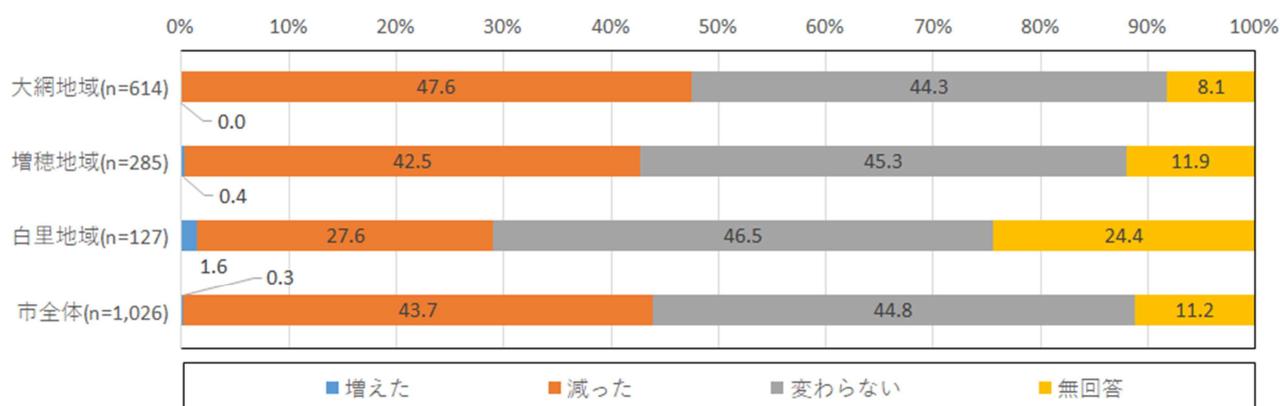


(4) 新型コロナウイルスの影響

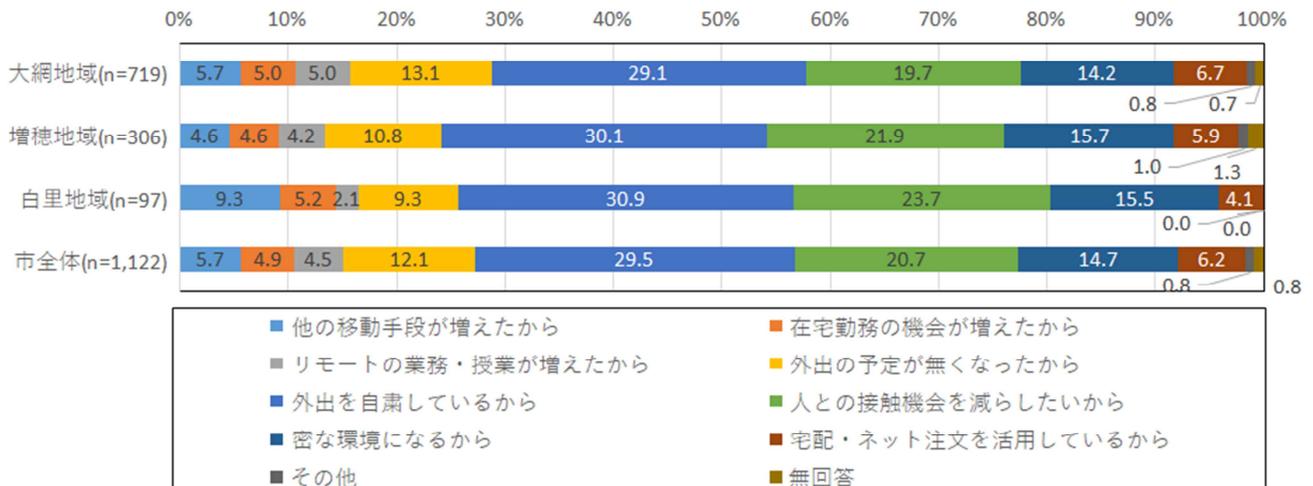
公共交通の利用回数は「変わらない」が44.8%と最も多く、「減った」が43.7%でした。なお、「増えた」と回答した方の理由は「他の移動手段から変えたから」が2票、「外出する機会が増えたから」が1票でした。

利用回数が減少した理由は「外出を自粛しているから (29.5%)」、「人との接触機会を減らしたから (20.7%)」、「密な環境になるから (14.7%)」の順で回答率が高くなっています。

①公共交通の利用回数の変化



②利用回数が減少した理由



(5) 公共交通に対するご意見・ご要望（自由意見）

公共交通全般では、運転免許返納後や障がいがある方への支援等の「高齢者や障がい者の移動手段確保」に関する意見が多くなっています。

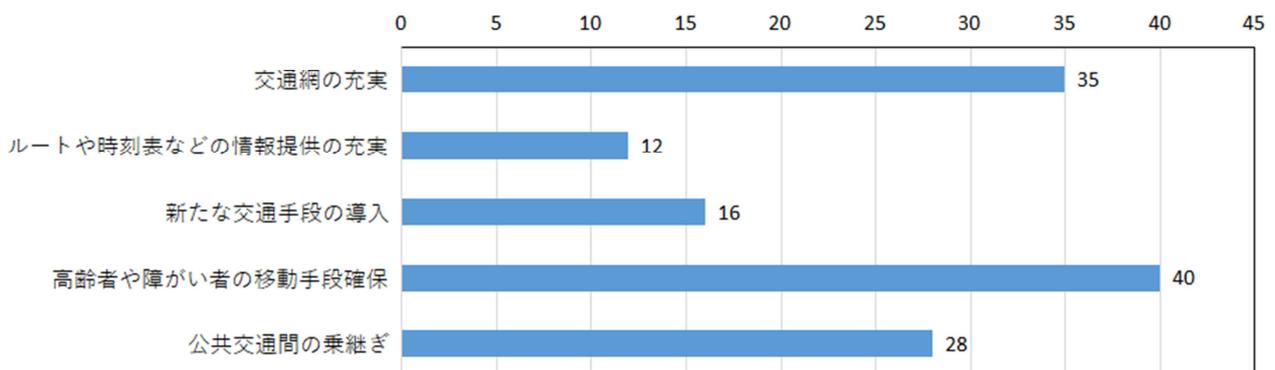
鉄道関係では、大網駅前ロータリーの整備や永田駅構内のバリアフリー化等の「駅や駅周辺の整備」に関する意見や、快速電車の本数を増やして欲しい等の「運行本数の増便」に関する意見が多くなっています。

路線バス関係では、多くの路線で「運行本数の増便」の意見が多くなっています。

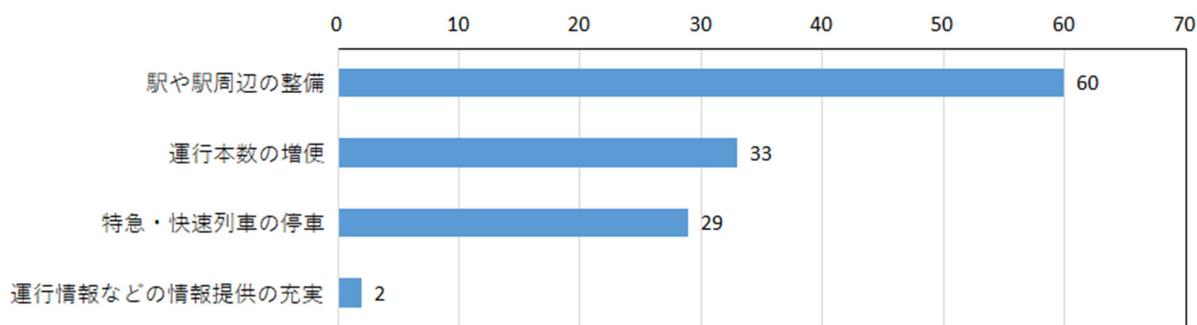
コミュニティバス関係では、自分の住んでいる地域にもコミュニティバスを走らせて欲しい等の「路線新設や延伸」に関する意見が多くなっています。

タクシー関係では、タクシー利用補助券の交付等の「運賃補助」に関する意見が多くなっています。

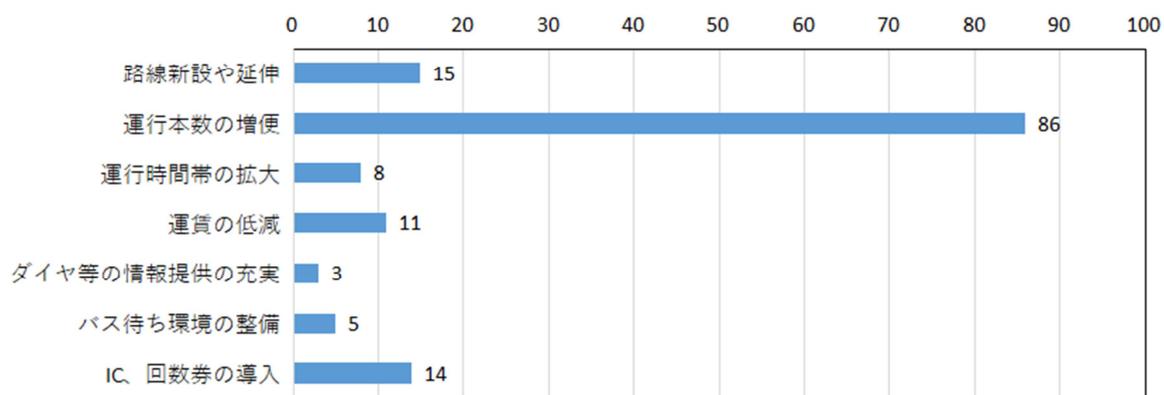
【公共交通全般】



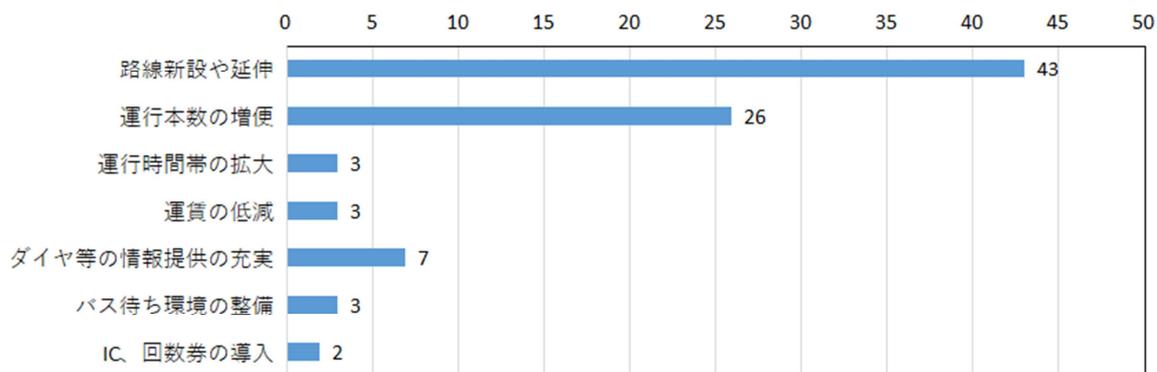
【鉄道関係】



【路線バス関係】



【コミュニティバス関係】



【タクシー関係】

